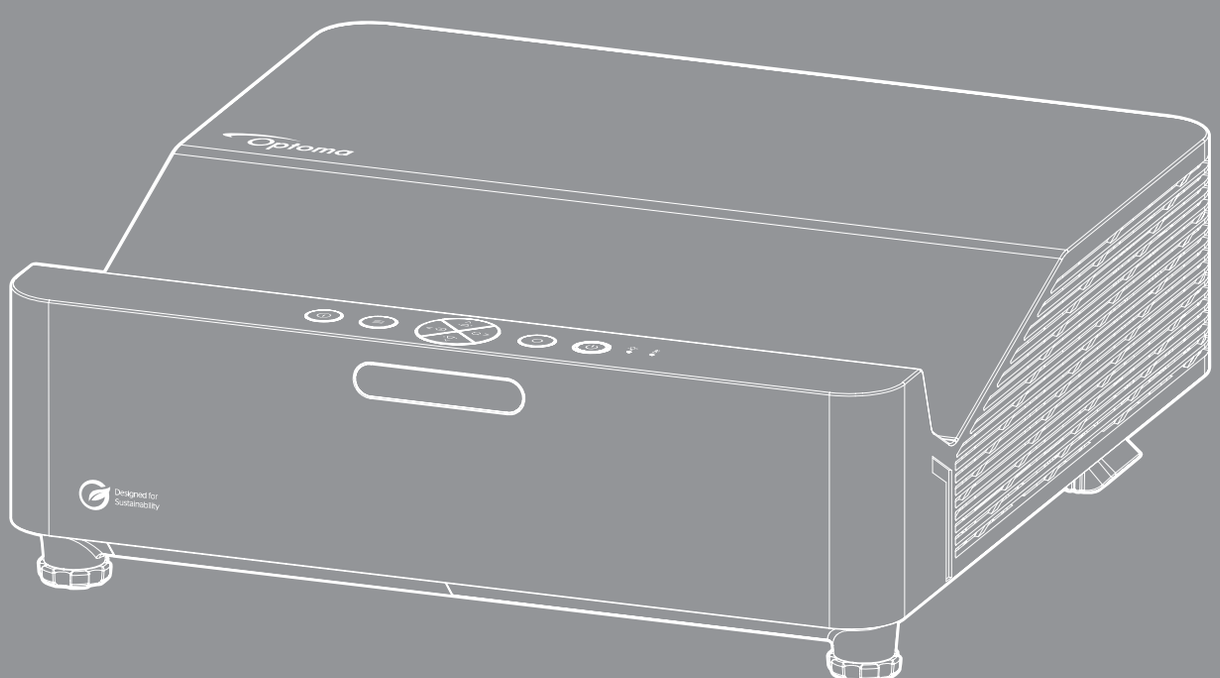
Optoma

超短焦点DLPレーザープロジェクター

AZW430UST

取扱説明書



4K Compatible | HDR Compatible | 3D Full | 1080p Full HD | HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE | DLP TEXAS INSTRUMENTS

目次

安全上のご注意 4

安全上のご注意 4
レーザー放射安全情報 5
レーザーに関する通知 6
著作権 7
免責事項 7
商標権 7
FCC 7
EU 諸国に対する適合宣言 8
WEEE 8
レンズの清掃 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
コントロールパネル 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターの設置 14
ソースをプロジェクターに接続する 16
投写画像の調整 17
リモコンの準備 18

プロジェクターを使用する 20

プロジェクターの電源を入れる/切る 20
入力ソースを選択する 21
プロジェクター設定メニュー(OSD) 22
OSD メニューツリー 23
ピクチャモードメニュー 29
ダイナミックレンジメニュー 29
輝度メニュー 30
コントラストメニュー 30
シャープネスメニュー 30
ガンマメニュー 30
色設定メニュー 30
壁色補正メニュー 30
3D メニュー 31
リセットメニュー 31
投写位置メニュー 32
光源モードメニュー 32

ダイナミックブラックメニュー..... 32
ゲーミングモードメニュー..... 32
アスペクトメニュー..... 32
アスペクト比メニュー..... 33
ジオメトリ補正メニュー..... 35
デジタルズームメニュー..... 35
画像シフトメニュー..... 35
リセットメニュー..... 35
テストパターンメニュー..... 36
言語メニュー..... 36
メニュー設定メニュー..... 36
高地モードメニュー..... 36
フィルターメニュー..... 36
電源設定メニュー..... 37
セキュリティメニュー..... 37
起動画面メニュー..... 38
背景色メニュー..... 38
リセットメニュー..... 38
オートソースメニュー..... 39
自動入力切り替えメニュー..... 39
HDMI CEC 設定メニュー..... 39
リセットメニュー..... 39
音量メニュー..... 40
ミュートメニュー..... 40
リセットメニュー..... 40
デバイス ID メニュー..... 41
リモコン設定メニュー..... 41
本体キー設定メニュー..... 41
LAN メニュー..... 41
コントロールメニュー..... 43
リセットメニュー..... 51
情報メニュー..... 52

追加情報 53

対応解像度..... 53
イメージサイズと投写距離..... 57
プロジェクターの寸法と天井取り付け..... 58
IR リモコンコード..... 60
故障かなと思ったら..... 62
警告インジケーター..... 64
仕様..... 65
memo..... 66

使用上のご注意

⚠	正三角形に矢印の付いた稲妻は、製品の本体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」がかかっていることをユーザーに警告するものです。
⚠	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全上のご注意

- 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。
  注）：危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 0°C ～ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii) 相対湿度は最大 80% です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的な破損/乱用は次のような場合を言います。 (但し、これは一部の例です。):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。
  注）：プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。
  注）：光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。
  注）：感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- 安全に関する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本機の修理は、テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、レンズを直視しないでください。
  注）：高輝度の光が目に損傷を与える危険があります。

使用上のご注意

- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの本体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
  注）：本体を研磨剤入りクリーナー、ワックス、溶剤でお手入れしないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受ける可能性のある場所に、プロジェクターを設置しないでください。
- レンズは素手で触らないでください。
- 保管時は、リモコン内の電池を取り外してください。
  注）：電池を長期間リモコンに入れたままにしておくと、液漏れが起きる場合があります。
- 石油やタバコからの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。
  注）：プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターには、テーブルタップまたは、サージ保護電源をご使用ください。
  注）：停電や電圧異常により機器が使用不能になる場合があります。

レーザー放射安全情報

- 本製品は、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2として分類され、IEC 62471:5:Ed. 1.0 に定義されているリスクグループ 2、LIP (レーザー照明プロジェクター) として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。

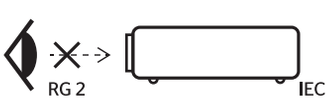
IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

"WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN."
Additional warning against eye exposure for close exposures less than 1 m.

"AVERTISSEMENT : INSTALLER AU-DESSUS DE LA TÊTE DES ENFANTS."
Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1 m.

「警告:安裝在高於兒童頭部處」 針對1m以下近距離眼睛接觸的額外警告

"警告:安裝在高于孩童头顶处" 关于小于1m近距离眼睛暴露的附加警告



- 光線を凝視しないでください。
  高輝度の光源に関しては、光線を直接凝視しないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
  - このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- お子様については、プロジェクターからの光線はどんな距離からでも見つめさせないようにしてください。
- プロジェクターのレンズ前でリモコンを操作してプロジェクターを起動させる場合は、特にご注意ください。
- ユーザー各位は、光線経路に双眼鏡や望遠鏡などの光学機器を使用しないようにご注意ください。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲にいる人がレンズを見ていないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に反射物（拡大鏡など）を置かないでください。
  注）：火災や目の損傷などの予期しない結果を引き起こす可能性があります。

使用上のご注意

- 取扱説明書に指定されているもの以外の制御や調整を使用したり、手順を実行すると、危険な放射線被ばくが生じる可能性があります。
- プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
  注）：レーザー放射の曝露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときにレーザービームを見つめないでください。
  注）：明るい光によって、目に永続的な障害が生じる恐れがあります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014 :クラス 1 レーザー製品-リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

※ 日本モデルは3Dに対応していません。

使用上のご注意

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。この取扱説明書に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。
© 著作権 2023

免責条項

本書の情報は予告なしで変更される場合があります。製造元は記載内容にを代表、または保障することはありませんし、また、商業性の暗黙の保証および特定の目的への適合性に関しての責任は負いかねます。 製造元は本出版物の内容に関して時に応じて変更する権利を有し、 またそのバージョンや変更に関する通知の義務は一切持たないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録済、または登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために規定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の方法で受信障害を改善することをおすすめします。 ：

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店や資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル
その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

使用上のご注意

操作条件

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は電波障害を起こさないこと。
2. 本装置は誤作動の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

注意: カナダにお住まいのユーザー様

当クラス B デジタル機器は、カナダ 規制ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE

廃棄物についての指示

このデバイスを処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するために、本製品をリサイクルしてください。

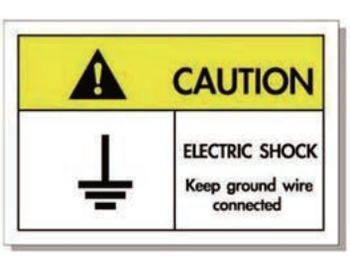
レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いて、本体の温度が完全に下がるのを待ってください。
- ホコリを取り除くには、圧縮空気スプレーをご使用ください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズは素手で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性洗剤またはアルコール等の揮発性溶剤を使用しないでください。
  ※ 清掃処理により、レンズが損傷した場合は、保証の対象外となります。

警告: レンズからホコリや汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度な熱より火災が発生する可能性があります。

警告: プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、

警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。



感電防止のため、本体および周辺装置は正しく接地（アース）する必要があります。

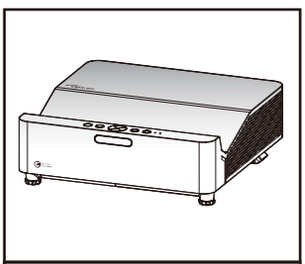
当装置には、接地線付き電源プラグが備わっています。電源プラグの接地線は撤去しないでください。これは安全機能です。接地方法がわからない場合は、電気技師にお問い合わせください。

はじめに

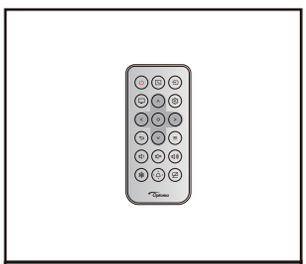
パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、標準アクセサリー一覧に記載されている品目がす揃っていることを確認してください。

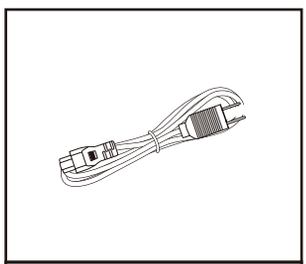
標準アクセサリー



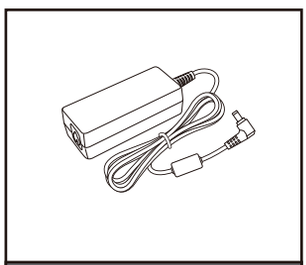
プロジェクター



リモコン



電源コード



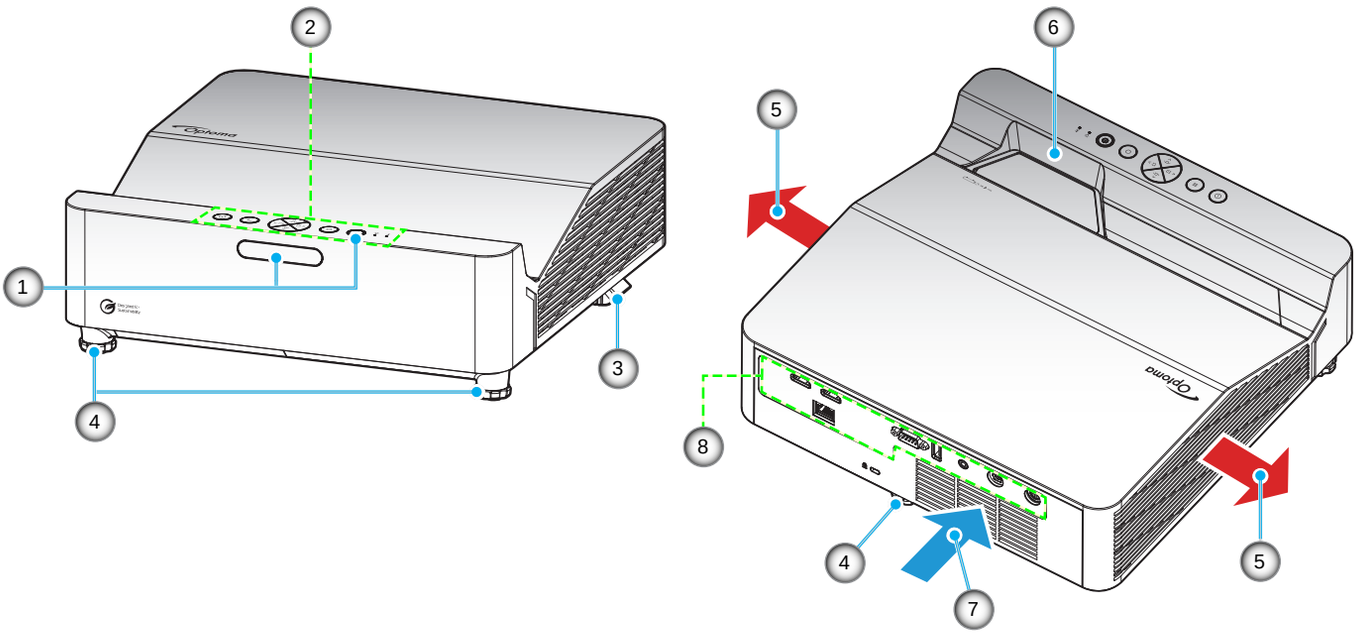
電源アダプター

取扱注意書
（QRコード）

文書

はじめに

製品の各部名称



注:

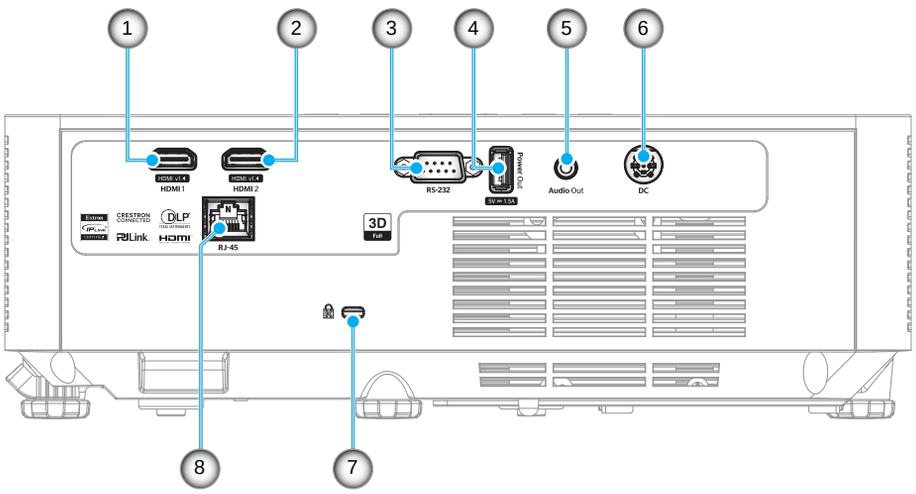
- *プロジェクターの吸排気口を塞がないでください。*
- *閉鎖したスペースでプロジェクターを動作させる場合、吸排気口の前には 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	項目	番号	項目
1.	赤外線レシーバー	5.	換気 (排気口)
2.	コントロールパネル	6.	レンズ
3.	フォーカスレバー	7.	換気 (吸気口)
4.	チルト調整フット	8.	入/出力

はじめに

接続

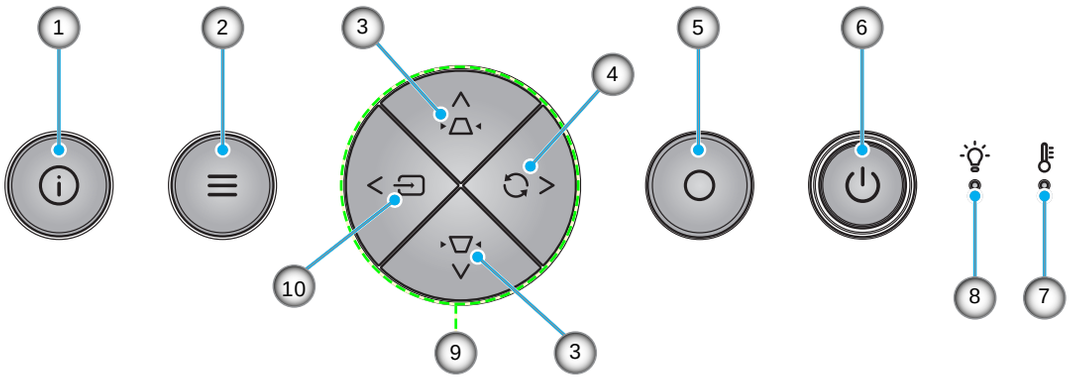
WXGA モデル



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI 1 コネクター	6.	DC ジャック
2.	HDMI 2 コネクター	7.	Kensington™ ロック ポート
3.	RS-232 コネクター	8.	RJ-45 コネクター
4.	USB 給電出力 (5V⎓1.5A) コネクター		
5.	オーディオ出力コネクター		

はじめに

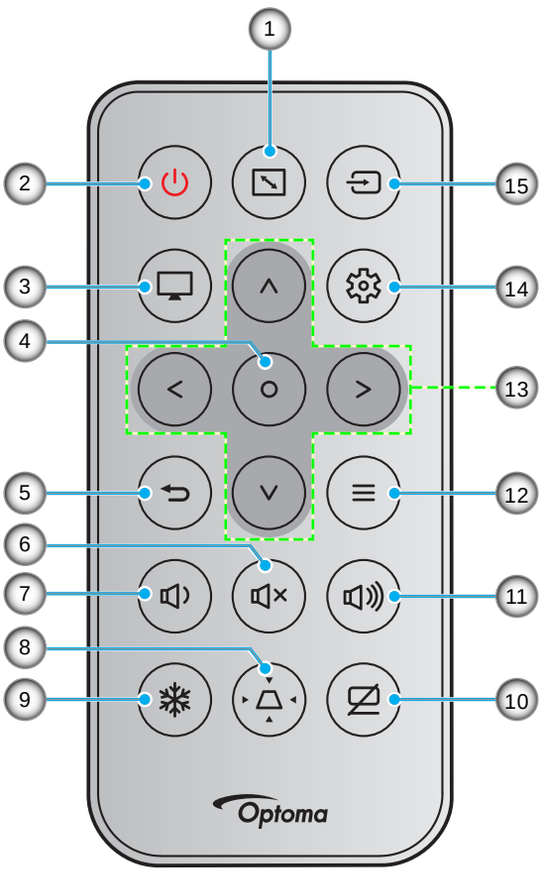
コントロールパネル



番号	項目	番号	項目
1.	情報	6.	電源、電源 LED、IR 受信機
2.	メニュー	7.	温度 LED
3.	ジオメトリ補正	8.	ランプ LED
4.	再同期	9.	4 方向選択キー
5.	入力	10.	ソース

はじめに

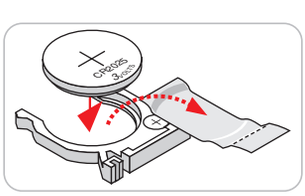
リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	アスペクト比	9.	フリーズ
2.	電源オン/オフ	10.	AV 消音
3.	モード	11.	音量 +
4.	入力	12.	メニュー
5.	戻る	13.	4 方向選択キー
6.	ミュート	14.	設定/設定メニュー
7.	音量 -	15.	ソース
8.	キーストン補正		

注:

- *モデルによっては対応ていない機能があるので、対応するキーが無効となる場合があります。*
- *初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。*
  電池の取り付けについては、18 ページ を参照してください。

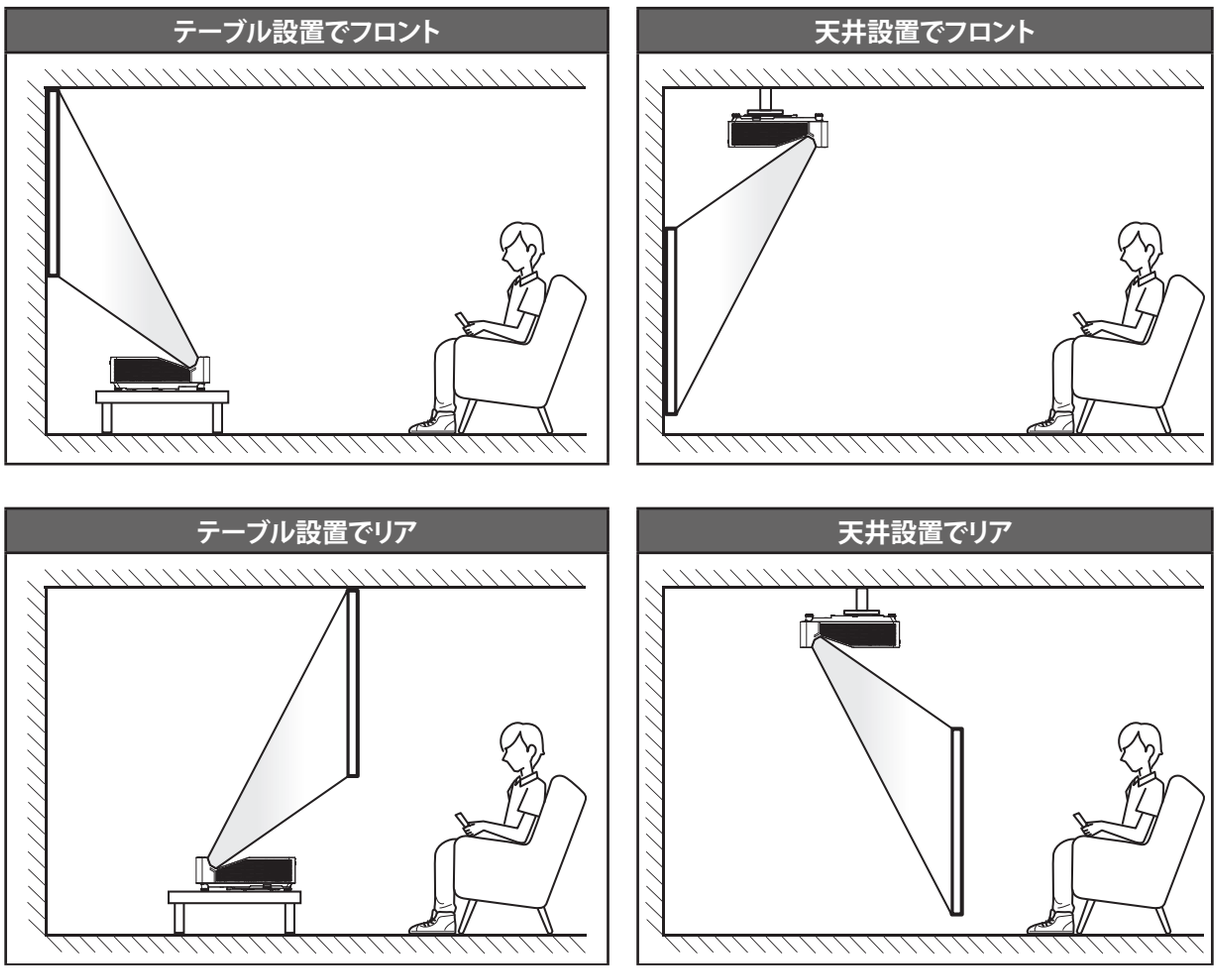


設定と設置

プロジェクターの設置

このプロジェクターは4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

お部屋のレイアウトやお好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンのサイズと場所、適切なコンセントの場所、プロジェクターの場所や他の装置との距離を考慮してください。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

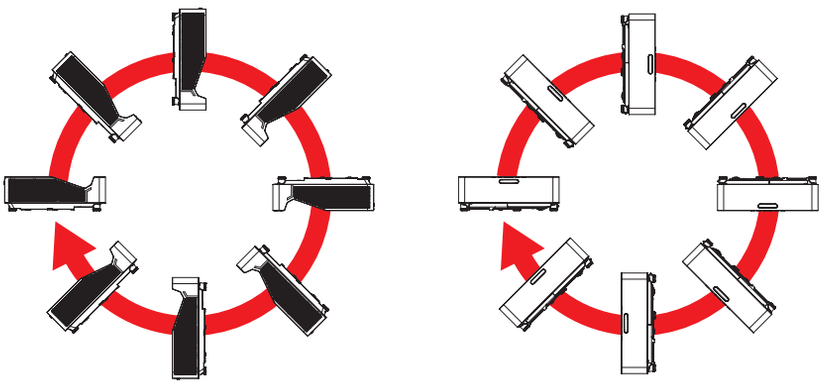
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*58 ～ 59* ページの投写距離表をご参照ください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*58 ～ 59* ページの投写距離表をご参照ください。

注: *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

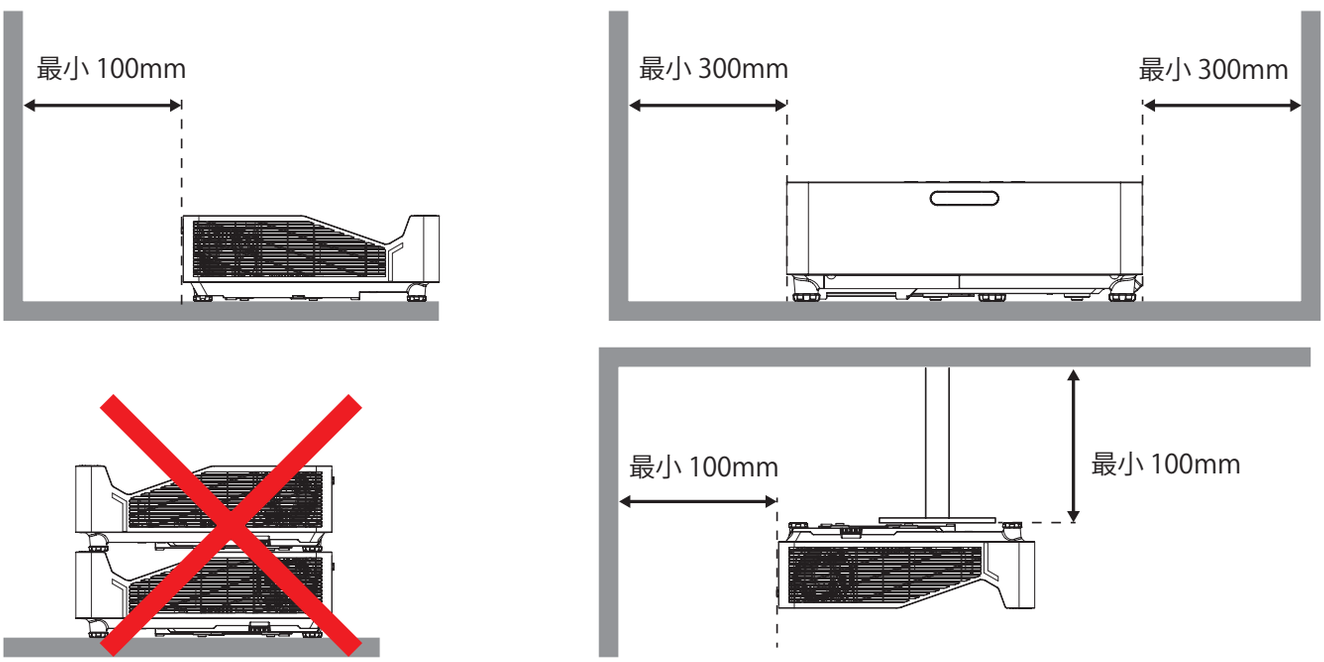
設定と設置

プロジェクター設置のご注意

- 360° の自由方向操作



- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



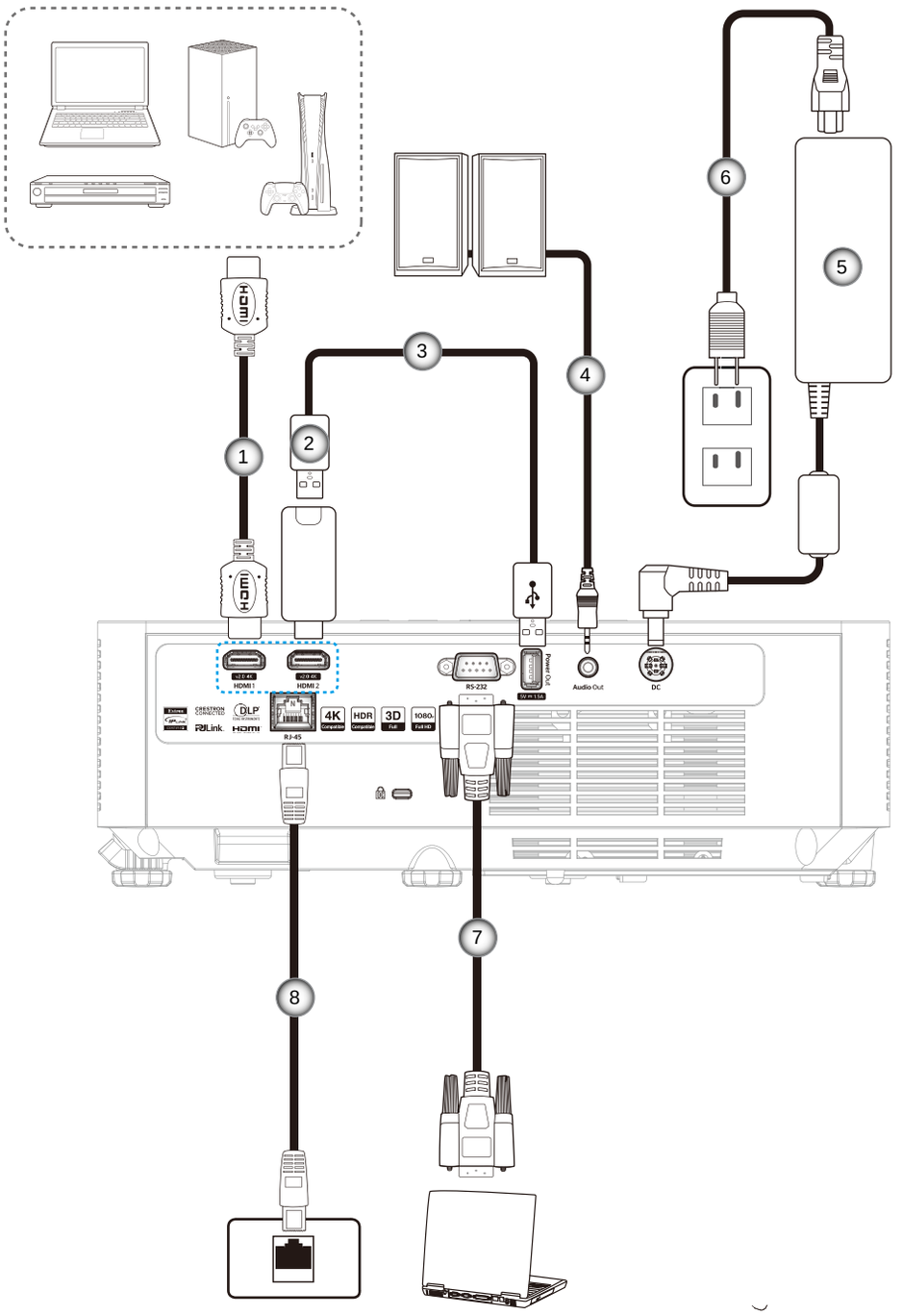
- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- プロジェクターをエンクロージャー内で動作させる場合は、プロジェクターが動作している間は、エンクロージャー内の温度が動作温度を超えないようにし、吸排気口が塞がれないことを確認してください。
- すべてのエンクロージャーが放熱条件を満たし、排気が循環しないようにします。これが満たされないとエンクロージャーの温度が動作温度範囲内でも装置がシャットダウンする可能性があります。
- ホコリが多い環境でご使用の場合など、環境や使用条件によってはホコリが吸気口付近にたまることがあります。それにより、本機内部の送風・冷却・排熱の循環が悪化し、明るさ低下や破損につながる恐れがあります。

お手入れについて

- 吸気口/排気口のほこりを半年から1年を目安に清掃してください。
- 内部清掃に関してはテクニカルサポートセンターにご相談ください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル	6.	電源ケーブル
2.	HDMI ドングル	7.	RS232 ケーブル
3.	USB 電源ケーブル	8.	RJ-45 ケーブル
4.	オーディオ出力ケーブル		
5.	電源アダプター		

注:

- *最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。*

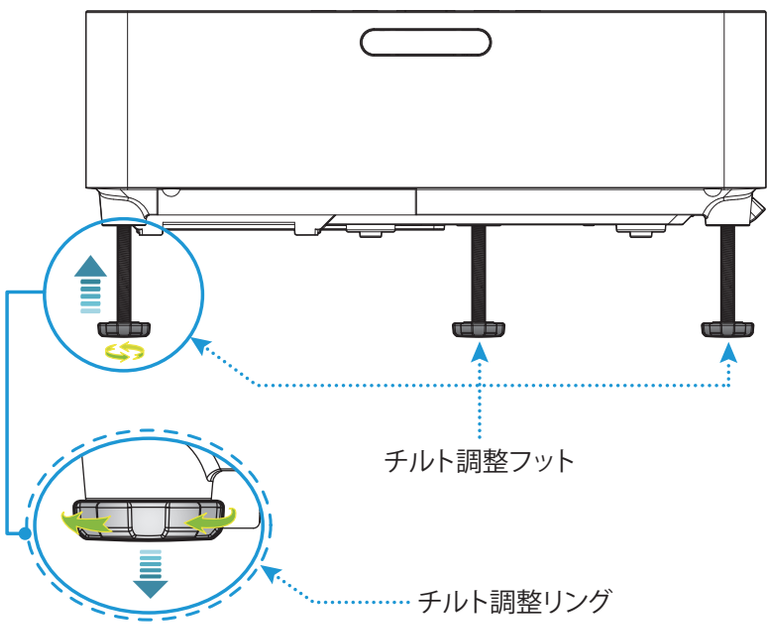
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

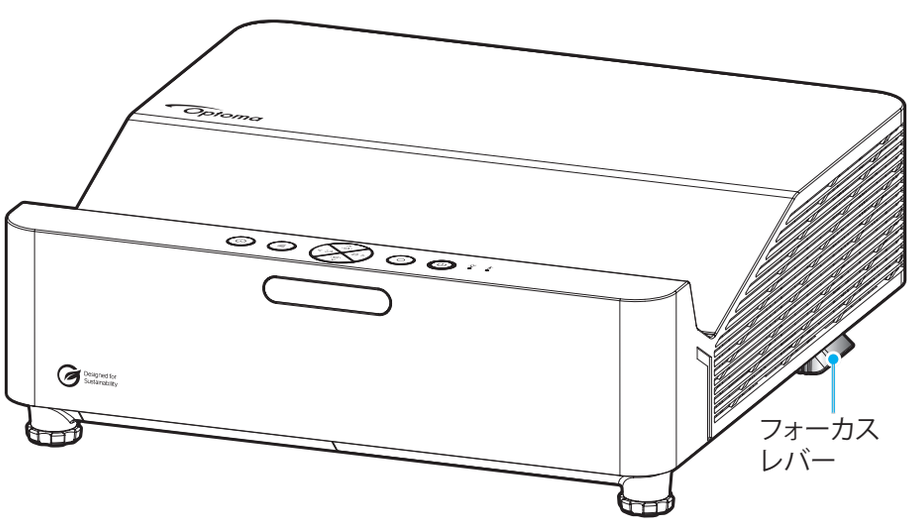
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを確認してください。
2. 調整フットを時計方向または反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



フォーカス

フォーカスを調整するには、画像が鮮明で読みやすくなるまでフォーカスレバーを上下にスライドさせます。

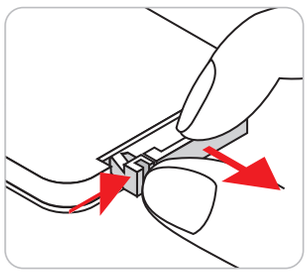


設定と設置

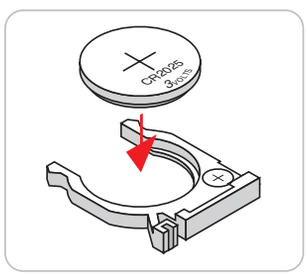
リモコンの準備

電池の取り付け/交換

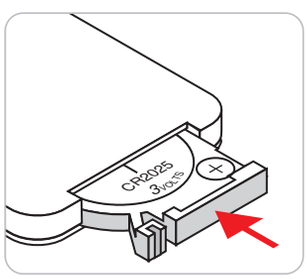
1. 電池カバーを強く押し、スライドさせて取り外します。



2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます(CR2025)。「+」のある面を必ず上に向けてください。



3. カバーを元のように取り付けます。



注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

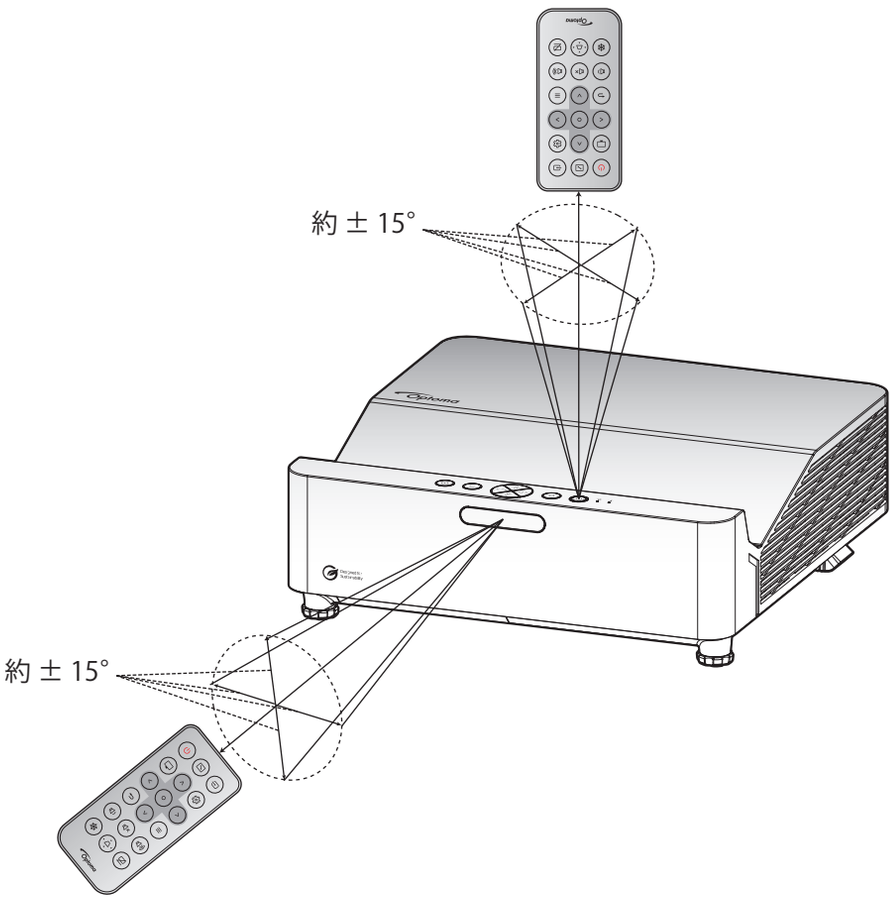
- CR2025 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。
- 電池を口に入れたり飲み込んだりしないでください。科学火傷の危険があります。
- この製品には、コイン/ボタン電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、重度の火傷を負い、死亡する可能性があります。
- 新品および使用済みの電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 電池室がしっかり閉まらない場合は、製品の使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管してください。
- 電池を飲み込んだり、体内に入れたりした可能性があると思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

設定と設置

有効範囲

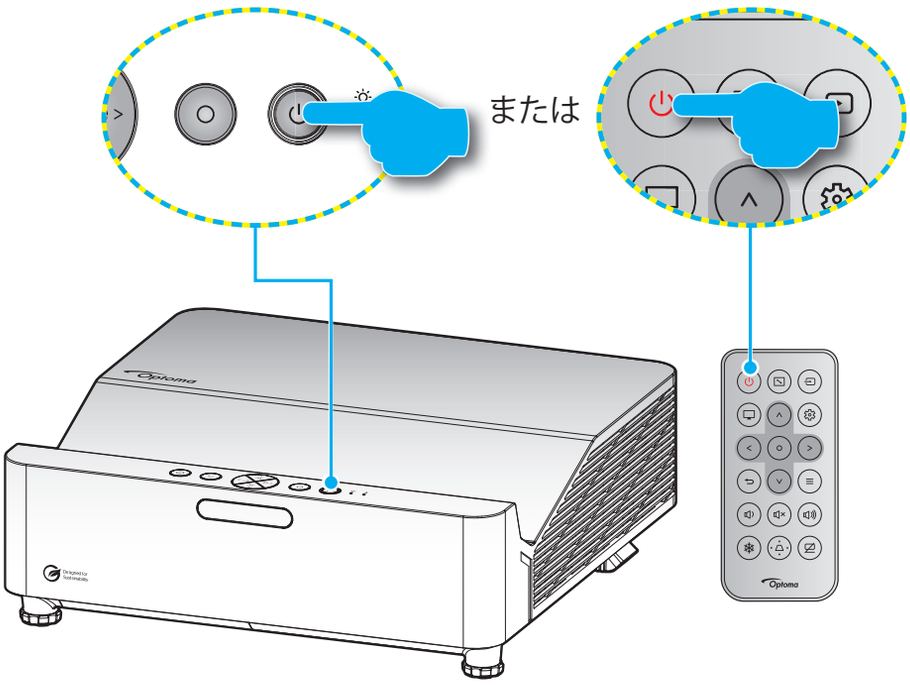
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上部にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーが正しく機能するよう、リモコンはセンサーに対して垂直から 30 度以内の角度でご使用ください。リモコンとセンサーの距離は 6 m以内にしてください。

- 赤外線ビームが届かなくなるので、リモコンとIR センサーの間には障害物がないようにしてください。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 m以上離さないと正しく動作しない場合があります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が非常に近い場合、リモコンが動作しないことがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



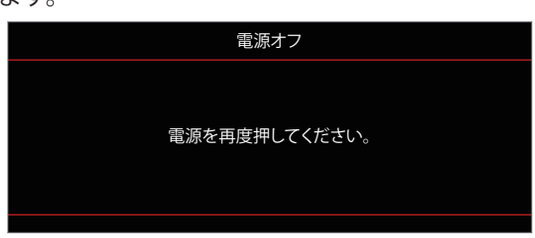
電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターキーパッドの [⏻] またはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. スタートアップ画面が約 10 秒間ほど表示され、電源 LED が青色に点滅します。

注: *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を行うように求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの [⏻] またはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 以下のメッセージが表示されます。



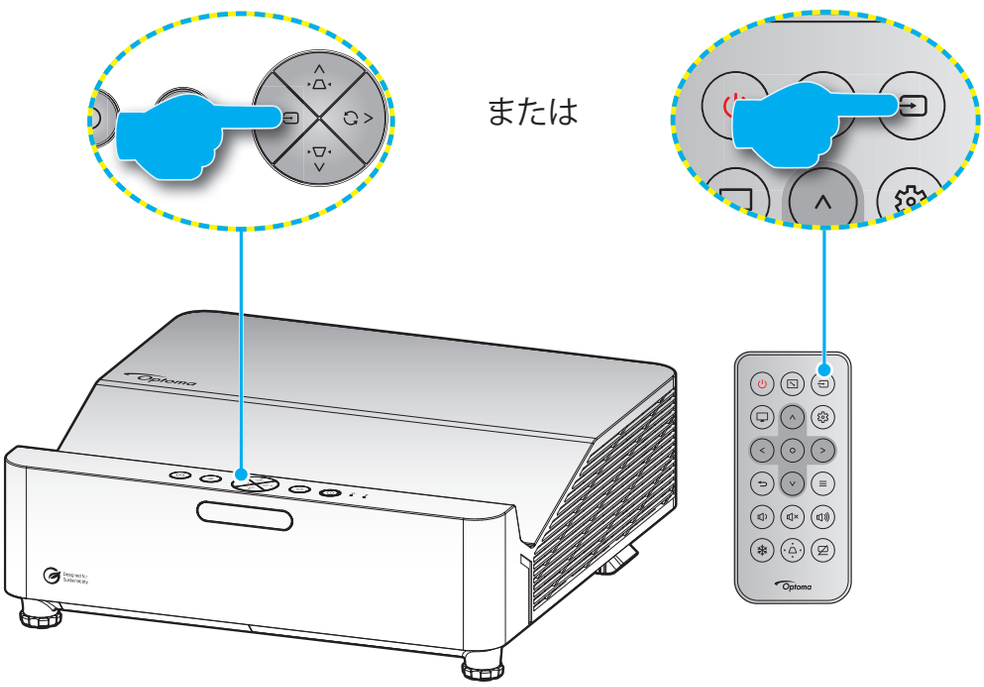
3. [⏻] または[⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さないと、15 秒後にメッセージが消えます。[⏻] または[⏻] ボタンを再度押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて行うと、電源 LED が青色に点滅します。電源 LED が赤色になると、プロジェクターはスタンバイモードになります。プロジェクターの電源を入れ直したい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] または[⏻] ボタンを押すとプロジェクターをオンにすることができます。
5. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから外します。

注: *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示したいソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。
プロジェクターはソースを自動的に検知します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⇥] ボタンを押し、入力を選択します。

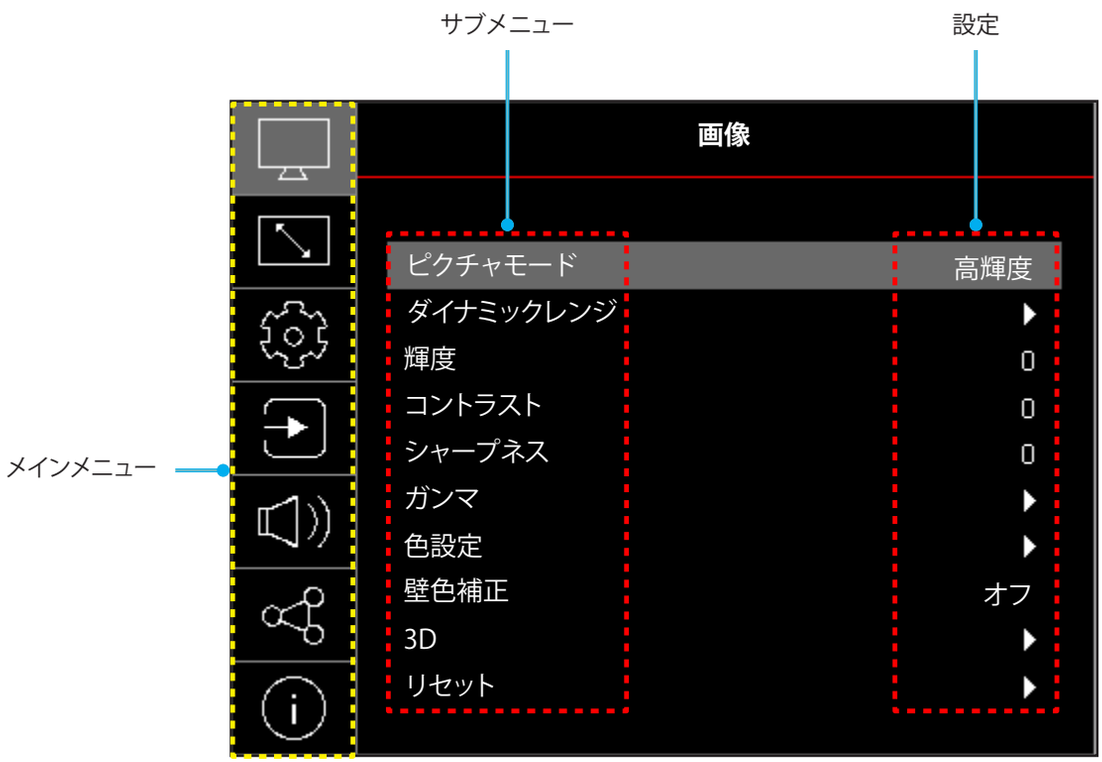


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。このプロジェクターは、ソースを自動的に検知します。

1. OSD メニューを開くには、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [☰] ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、∧/ ∨ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンの [O] ボタンを押して、サブメニューに進みます。
3. </ > キーを使って、サブメニューで希望のアイテムを選択し、[O] ボタンを押して、詳細設定を表示します。∧/ ∨/ < /> キーを使用して設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [O] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [☰] ボタンを押します。OSDメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	ピクチャモード				鮮明
					高輝度
					シネマ
					ゲーム
					スポーツ
					リファレンス
					DICOM SIM.
					3D
	輝度				-50 ~ 50
	コントラスト				-50 ~ 50
	シャープネス				1 ~ 15
	ガンマ				フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
	色設定	色の濃さ			-50 ~ 50
		色あい			-50 ~ 50
		BrilliantColor™			1 ~ 10
		色温度			標準 [デフォルト]
					高
					冷色
					低
		CMS	色の濃さ		赤 [デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白
			色あい		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			ゲイン		-50 ~ 50
			リセット		いいえ
					はい
		カラースペース			自動 [デフォルト]
					RGB（0~255）
					RGB（16~255）
					YUV

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	壁色補正				Off [デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
	3D	3D モード			Off [デフォルト]
					オン
		3D 技術			DLP リンク
					3D 同期
		3D-2D 変換			3D
					左
					右
		3D 映像フォーマット			自動 [デフォルト]
					サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
		3D 同期反転			Off [デフォルト]
					オン
		リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
ディスプレー	投射位置				フロント [デフォルト]
					リア
					天井-上部
					リア-上部
	光源モード				エコ [デフォルト]
				Constant Power	100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%
	ダイナミックブラック				Off [デフォルト]
					オン
	ゲーミングモード				オフ
					オン
	アスペクト [WXGAのみサポート]				16:9
					16:10 [デフォルト]
	アスペクト比				4:3
					16:9 [WXGAは画面タイプに依存します]
					16:10 [WXGAは画面タイプに依存します]
					21:9
					ネイティブ
					自動 [デフォルト]

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	ジオメトリ補正	水平キーストン			-5 ~ 5
		垂直キーストン			-5 ~ 5
		4コーナー調整			
		リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	デジタルズーム	ズーム			-5 ~ 25
	画像シフト	水平			-100 ~ 100
		垂直			-100 ~ 100
		リセット			Off [デフォルト]
					オン
	リセット	リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
設定	テストパターン				Off [デフォルト]
					緑色のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白色グリッド
					白
	言語				English
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk
					Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文
					日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عـربي
					ไทย
					Türkçe
					فارســی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	メニュー設定	メニュー位置			左上
					右上
					中央
					左下
					右下
		メニュータイマー			Off [デフォルト]
					5s
					10s
					20s
					30s
		信号表示			Off [デフォルト]
					オン
	高地モード				Off [デフォルト]
					オン
	フィルター設定	エアフィルタ使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ取付			いいえ [デフォルト]
					はい
		エアフィルタ寿命			Off [デフォルト]
					300 時間
					500 時間
					800 時間
					1000 時間
		エアフィルタ使用時間リセット			いいえ [デフォルト]
					はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			Off [デフォルト]
					オン
		信号検知オートパワーオン			Off [デフォルト]
					オン
		自動電源オフ (分)			0～180 (1分の増分)
		スリープタイマー (分)			0～990 (30分の増分)
		電源モード(スタンバイ)			エコ
					アクティブ
	セキュリティ	セキュリティ			Off [デフォルト]
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワードの変更			
	起動画面	起動画面			デフォルト
					ユーザー
					ニュートラル

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	背景色				なし [デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
					ロゴ
	リセット	OSDをリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
		初期状態にリセット			いいえ [デフォルト]
					はい
ソース	オートソース				Off [デフォルト]
					オン
	自動入力切り替え				Off [デフォルト]
					オン
	HDMI CEC 設定	HDMI Link			Off [デフォルト]
					オン
		モニター連動			いいえ [デフォルト]
					はい
		電源オン設定			双方向設定
					プロジェクター→機器
					機器→プロジェクター
		電源オフ設定			Off [デフォルト]
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
オーディオ	音量				0~ 100
	ミュート				オン [デフォルト]
					Off
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
コントロール	デバイス ID				0~ 99
	リモコン設定	リモコン受光設定			Off [デフォルト]
					オン
	本体キー設定	キーパッドロック			Off [デフォルト]
					オン
	LAN	ネットワーク情報			（読み取り専用）
		MACアドレス			（読み取り専用）
		DHCP			Off [デフォルト]
					オン
		IP アドレス			192.168.0.100 [デフォルト]
		サブネットマスク			255.255.255.0 [デフォルト]
		ゲートウェイ			192.168.0.254[デフォルト]
		DNS			192.168.0.51[デフォルト]
		リセット			キャンセル [デフォルト]
					OK

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
コントロール	コントロール	クレストロン (ポート 41794)			Off [デフォルト]
					オン
		エクストロン (ポート 2023)			Off [デフォルト]
					オン
		PJ リンク (ポート 4352)			Off [デフォルト]
					オン
		AMX デバイス検出 (ポート 9131)			Off [デフォルト]
					オン
		Telnet (ポート 23)			Off [デフォルト]
					オン
		HTTP (ポート 80)			Off [デフォルト]
					オン
	リセット				いいえ [デフォルト]
					はい
情報	制御				
	シリアル番号				
	ソース				
	カラー情報				
	Light Source Hours				
	ピクチャモード				
	デバイス ID				
	エアフィルタ使用時間				
	光源モード				
	FW バージョン	DDP			C04 [デフォルト]
		MCU			M08 [デフォルト]
		LAN			L36 [デフォルト]

プロジェクターを使用する

画像メニュー

ピクチャモードメニュー

表示の好みに合わせて選択できる、画像タイプに最適化されたいくつかのプリセット設定が用意されています。

- **鮮明** ： このモードを選択すると、色の彩度と明るさのバランスが取れ、表示が明るくなります。環境光がある設定、またはより明るい画像/プレゼンテーションが必要な場合は、このモードを選択してください。
- **シネマ** ： 映画鑑賞に最適なカラーを提供します。
- **ゲーム** ： ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
- **スポーツ** ：スポーツの再生を見たり、スポーツゲームをプレイしたりするためにプロジェクターを最適化します。
- **リファレンス** ： このモードは、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **高輝度**： このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **DICOM SIM.**：このモードは、レントゲン写真、MRIなど白黒の医療画像を投写できます。
  注:* *このプロジェクターは、医療診断での使用には適していません。*
- **3D**： 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
  注: *3D効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。*

プロジェクターを使用する

輝度メニュー

画像の輝度を調整します。

コントラストメニュー

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネスメニュー

画像のシャープネスを調整します。

ガンマメニュー

ガンマ曲線のタイプを設定します。初期設定と微調整が完了したら、ガンマ調整を利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**： ホームシアター用。
- **グラフィック**： PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4**： 特定の PC/フォトソース用。

色設定メニュー

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

標準、高、冷色または低から色温度を選択します。

CMS

次のオプションを選択します：

- 色の濃さ： 画像の赤(R)、緑(G)、青(B)、シアン(C)、黄(Y)、マゼンタ(M)、白(W)レベルを調整します。
- 色あい：赤と緑のカラーバランスを調整します。
- 彩度：ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- ゲイン： 選択したカラーの輝度を調整します。
- リセット： カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。

カラースペース

以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0-255)、RGB (16-235) および YUV。

壁色補正メニュー

この機能を使用すると壁の色に応じて最適な映像が得られます。

オフ、黒板、ライトイエロー、 ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注: *正確な色再現のために、スクリーンのご使用をお勧めします。*

プロジェクターを使用する

3D メニュー

注:

- *このプロジェクターは、DLP リンク 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。*
- *ビデオを鑑賞の前に、お持ちの3D メガネがDLP リンク 3D 用であることを確認してください。*
- *このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2 ポート経由で、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D に対応しています。*
- *3D モードを有効にするには、入力フレームレートは 60Hz のみが可能で、これ以外のフレームレートには対応しません。*
- *最適な映像を実現するために、1920x1080 がお勧めです。4K (3840x2160) の解像度は3D モードでは対応していません。*

3D モード

このオプションで、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ**： [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン**： [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D 技術

このオプションで、3D 技術を選択します。

- **DLPリンク**： DLP 3D メガネの最適設定を使用するには、これを選択します。
- **3D 同期**： IR、RF または偏光 3D メガネ用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D-2D 変換

このオプションで、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D**： 3D 信号を表示します。
- **左**： 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **右**： 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D 映像フォーマット

このオプションで、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**： 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド**：3D信号を[サイドバイサイド]形式で表示します。
- **トップアンドボトム**： 3D 信号を [トップアンドボトム] 形式で表示します。
- **フレームシーケンシャル**： 3D 信号を [フレームシーケンシャル] 形式で表示します。

3D同期反転

このオプションで、3D 同期反転機能をオン・オフします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト値に戻します。

- **いいえ**： 選択するとリセットがキャンセルされます。
- **はい**： 選択すると3D 設定が工場出荷時デフォルト値に戻ります。

リセットメニュー

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

投射位置メニュー

フロント、リア、天井-上部、リア-上部 から希望の投写方法を選択します。

光源モードメニュー

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。

ダイナミックブラックメニュー

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

ゲーミングモードメニュー

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 17 ミリ秒 (1080p@60Hz) に低減します。すべてのジオメトリ補正 (例: キーストン、4コーナー) は、ゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。詳細については、以下をご覧ください。

注:

- *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
- *表の値は若干変動する場合があります。*

ソースタイミング	ゲーミングモード	出力タイミング	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60Hz	1080p	17 ミリ秒
1080p60	オフ	1080p60Hz	1080p	ミ　秒

アスペクトメニュー

画面タイプを 16:9 および 16:10 から選択します。

注: *このオプションは、WXGA モデルでのみ使用できます。*

プロジェクターを使用する

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3**： この形式は、4:3 入力ソース用です。
- **16:9**： この形式はHDTVやDVD対応のようなワイド画面テレビのための16:9 入力ソース用です。
- **16:10**： この形式は、ワイド画面のノートパソコンなど16:10 入力ソース用です。
- **21:9**： この形式は、21:9 入力ソース用です。
- **ネイティブ**： この形式は、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動**： 適切な表示形式が自動的に選択されます。

WXGA スケーリング テーブル (アスペクト 16:10):

16:10 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	1066×800 に拡大縮小する				
16:10	1280×800 に拡大縮小する				
21:9	1280×548 に拡大縮小する				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング、1280×800 を表示。	1280×720 中央揃え。	1:1 中央にマッピング。
自動	- 入力ソースは 1280×800 表示に合わせて調整され、アスペクト比はもとの比率を保ちます。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 1066×800 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1280×720 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 の場合、画面タイプは自動的に 1280×768 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、スクリーンタイプは 1280×800 にスケーリングされます。 - ソースが 21:9 の場合、画面タイプは自動的に 1280×548 にサイズ変更されます。				

WXGA 自動マッピング規則 (アスペクト 16:10):

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1280	800
4:3	640	480	1066	800
	800	600	1066	800
	1024	768	1066	800
	1280	1024	1066	800
	1400	1050	1066	800
	1600	1200	1066	800
ワイドノート PC	1280	720	1280	720
	1280	768	1280	768
	1280	800	1280	800
SDTV	720	576	1280	720
	720	480	1280	720
HDTV	1280	720	1280	720
	1920	1080	1280	720

プロジェクターを使用する

WXGA スケーリング テーブル (アスペクト 16:9):

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4:3	960×720 に拡大縮小する				
16:9	1280×720 に拡大縮小する				
21:9	1280×548 に拡大縮小する				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。		1:1 マッピング、1280×720 を表示。	1280×720 中央揃え。	1:1 中央にマッピング。
自動	- 自動フォーマットを選択すると、画面タイプは自動的に 16:9 (1280×720) になります。 - ソースが 4:3 の場合、画面タイプは自動的に 960×720 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 の場合、画面タイプは自動的に 1280×720 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 の場合、画面タイプは自動的に 1200×720 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 の場合、スクリーンタイプは 1152×720 にスケーリングされます。 - ソースが 21:9 の場合、画面タイプは自動的に 1280×548 にサイズ変更されます。				

WXGA 自動マッピング規則 (アスペクト 16:9):

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1280	720
4:3	640	480	960	720
	800	600	960	720
	1024	768	960	720
	1280	1024	960	720
	1400	1050	960	720
	1600	1200	960	720
ワイドノート PC	1280	720	1280	720
	1280	768	1200	720
	1280	800	1152	720
SDTV	720	576	1280	720
	720	480	1280	720
HDTV	1280	720	1280	720
	1920	1080	1280	720

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正メニュー

垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いている
キーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくない
キーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4コーナー

この設定により、投写面が水平でない場合に、投写画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

リセット

ジオメトリ補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

デジタルズームメニュー

スクリーンに投写される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注: *ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。*

画像シフトメニュー

投写される画像位置を水平 (水平) または垂直 (垂直) に調整します。

リセットメニュー

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

テストパターンメニュー

テストパターンを 緑色のグリッド、マゼンタのグリッド、白色グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。 ※ 映像入力されている時は選択できません。

言語メニュー

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語から選択します。

メニュー設定メニュー

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モードメニュー

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

フィルター設定メニュー

エアフィルタ使用時間

エアフィルター使用時間を表示します。

エアフィルタ取付

注: *このオプションフィルターが入手可能であるかどうかについては、テクニカルサポートセンターにご相談ください。*

警告メッセージを設定します。

- **はい：** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。

注: *[エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット]は、[エアフィルタ取付]が[はい]のときのみ表示されます。*

- **いいえ:** 警告メッセージをオフにします。

エアフィルタ寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。
利用可能なオプションは、オフ、300 時間、500 時間、800 時間、1000 時間 です。

エアフィルタ使用時間リセット

ダストフィルターを交換または洗浄した後、ダストフィルターカウンタをリセットしてください。

プロジェクターを使用する

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

[オン]を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

[オン]を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注:

- *[信号電源オン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。*
- *この機能は HDMI ソースに適用されます。*

自動電源オフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注: *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*

電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:** [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ:** [エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

セキュリティメニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

注: *デフォルトのパスワードは「1234」です。*

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

起動画面メニュー

起動画面

この機能を使って希望の起動画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ニュートラル:** ロゴは起動画面に表示されません。
- **ユーザー:** ロゴキャプチャツールが必要です。

  注: Webサイトにアクセスして、ロゴキャプチャツールをダウンロードしてください。
  サポートするファイル形式はpng/bmp/jpgです。

背景色メニュー

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注: *背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。*

リセットメニュー

OSD をリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

入力メニュー

オートソースメニュー

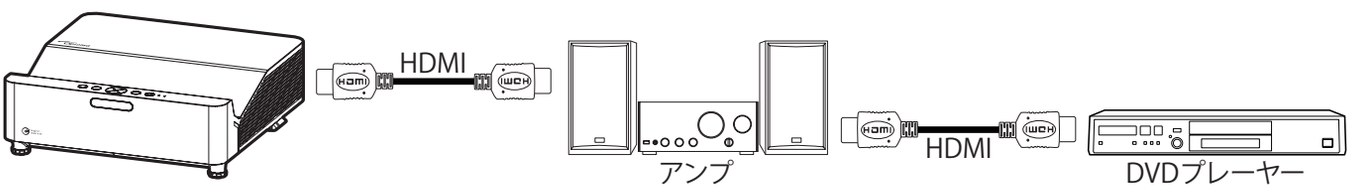
利用可能な入力ソースをプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

自動入力切り替えメニュー

HDMI 入力信号が検出されると、プロジェクターは自動的に入力ソースを切り替えます。

HDMI CEC 設定メニュー

注: *HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクターに接続するとき、プロジェクターの OSDで HDMI Linkコントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。*



HDMI Link

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

モニター連動

設定が[はい]に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **プロジェクター→機器:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **機器→プロジェクター:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

リセットメニュー

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

オーディオメニュー

音量メニュー

音量レベルを調整します。

ミュートメニュー

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:** [オン]を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **Off:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

注: *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

リセットメニュー

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

デバイス IDメニュー

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

注:*RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 取扱説明書を参照してください。*

リモコン設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** [オン]を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **Off：** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ]を選択すると、キーパッドのキ ーを使用できるようになります。

本体キー設定メニュー

キーパッドロック

キーパッドロック機能が[オン]であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ]を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

LAN メニュー

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにして、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を自動的に取得します。

IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS

プロジェクターの DNS を割り当てます。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法

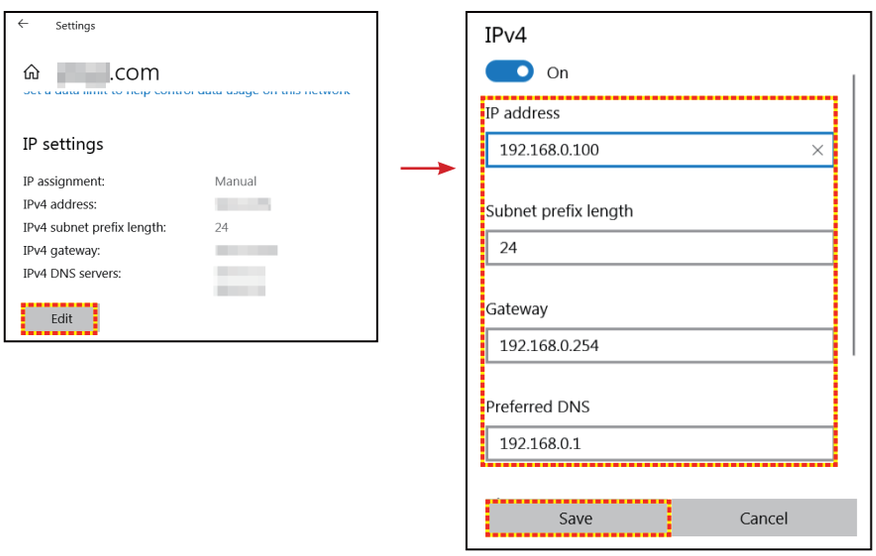
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクターの DHCP オプションを [オン]にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します（[コントロール > LAN > IP アドレス]）。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
   プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注:

- *既定のユーザー名とパスワードは「admin」です。*
- *このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。*

コンピューターからプロジェクターに直接接続しているとき*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します ([コントロール > LAN]) 。
3. PC の [*ネットワークとインターネット*] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワ ークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。



4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。
   [Enter] キーを押します。

リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、 プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。
コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 41794)
詳細については、http://www.crestron.com にアクセスしてください。

エクストロン

Extron デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート: 2023)
詳細については、http://www.extron.com にアクセスしてください。

PJ リンク

PJ Link v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。(ポート: 4352)
詳細については、http://pjlink.jbmia.or.jp/english にアクセスしてください。

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。(ポート: 9131)
詳細については、http://www.amx.com にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。(ポート: 23)
詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(52 ページ) を参照してください。

HTTP

Web ブラウザでプロジェクターを制御します。(ポート: 80)
詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクターをコントロールする方法」(43 ページ) を参照してください。

注:

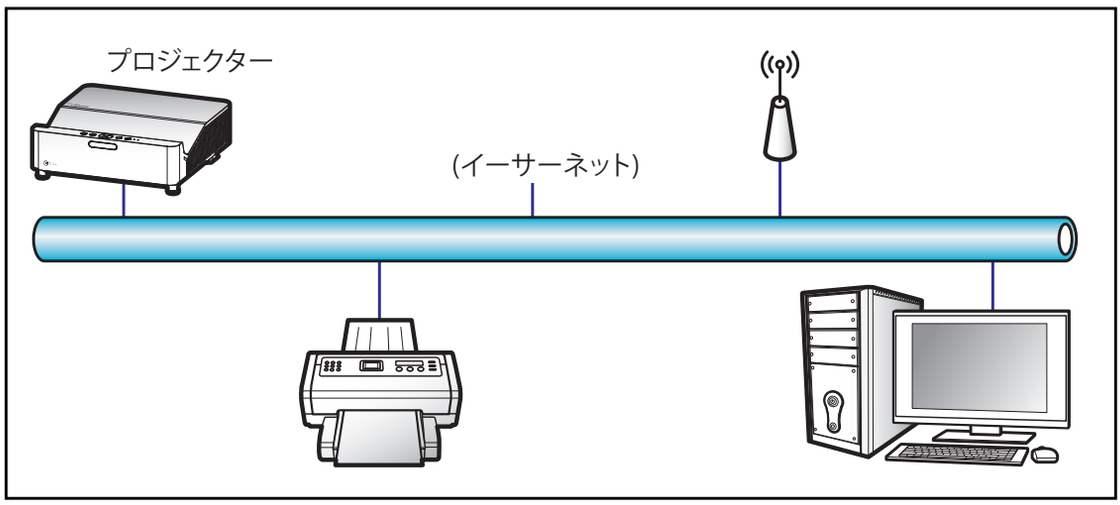
- *Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。*
- *AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。*
- *PJ Link は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。*
- *LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。*

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

LAN_RJ45 機能

シンプルで簡単な操作ができるよう、プロジェクターは各種ネットワーク機能およびリモート管理機能を備えています。
プロジェクターの LAN/RJ45 機能は、ネットワーク経由で以下の機能をリモートで管理します。
電源のオン/オフ、輝度、コントラスト設定。また、ビデオソースやミュートなどプロジェクターステータス情報が表示できます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは、LAN/RJ45 ポート経由でのコンピューターやその他外部デバイスを使って制御でき、
Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJリンク と互換性を持っています。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJリンク は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーおよび関連ソフトウェア(例：RoomView®)の特定コマンドに対応しています。

http://www.crestron.com/

このプロジェクターは 参照用にExtron デバイスに対応に準拠しています。

http://www.extron.com/

このプロジェクターは AMX デバイス検出に対応しています。

http://www.amx.com/

このプロジェクターは PJリンク Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

http://pjlink.jbmia.or.jp/english/

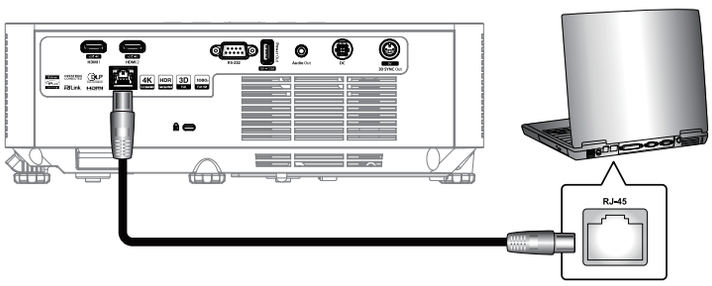
LAN/RJ45 ポートに接続してプロジェクターをリモートで制御できる各種外部デバイス、並びにそれら外部デバイス用の対応コマンドに関する詳細については、テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

プロジェクターを使用する

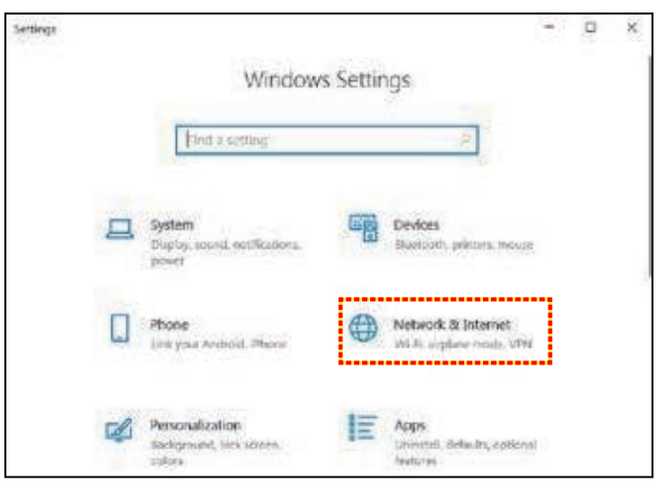
※　PJLinkを使用してPCからプロジェクターを操作するには以下の設定が必要です。
　　詳しい設定方法は左記URLよりご確認下さい。　https://www.optoma.jp/pdf/cmn/c002_supplmanu.pdf

LAN RJ45

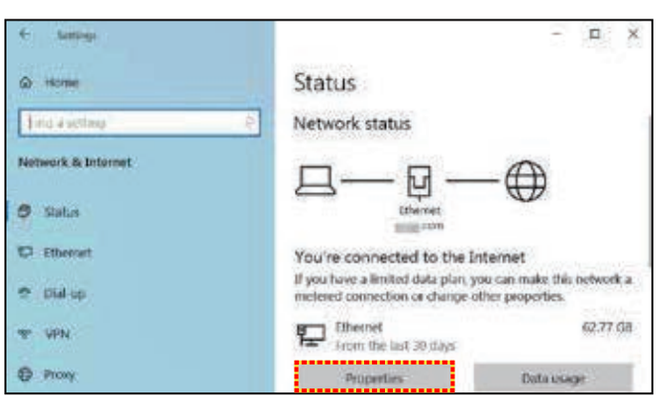
1.　RJ45ケーブルをプロジェクターおよびコンピューターの RJ45 ポートに接続します。



2.　コンピューターから、**[スタート]** > **[設定]** > **[ネットワークとインターネット]** を選択します。



3.　**[イーサネット]** セクションで、**[プロパティ]** を選択します。



4.　**[IP 設定]** セクションで、**[編集]** を選択します。

プロジェクターを使用する

5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。

6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターの **コントロール** > **LAN** の順に開きます。
8. 以下の接続パラメーターを入力します。
   - DHCP: オフ
   - IP アドレス: 192.168.0.10X ※
   - サブネットマスク: 255.255.255.0
   - ゲートウェイ: 192.168.0.254
   - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押して、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
11. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。192.168.0.100。

12. [Enter] を押します。

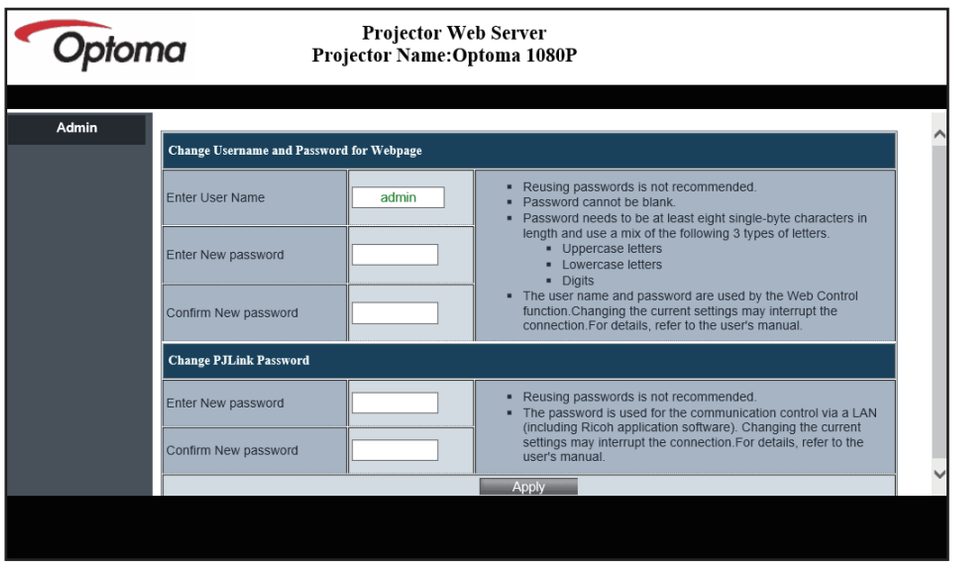
※ プロジェクターのIPアドレスと被らない任意の数字を入力してください。
例：192.168.0.101

プロジェクターを使用する

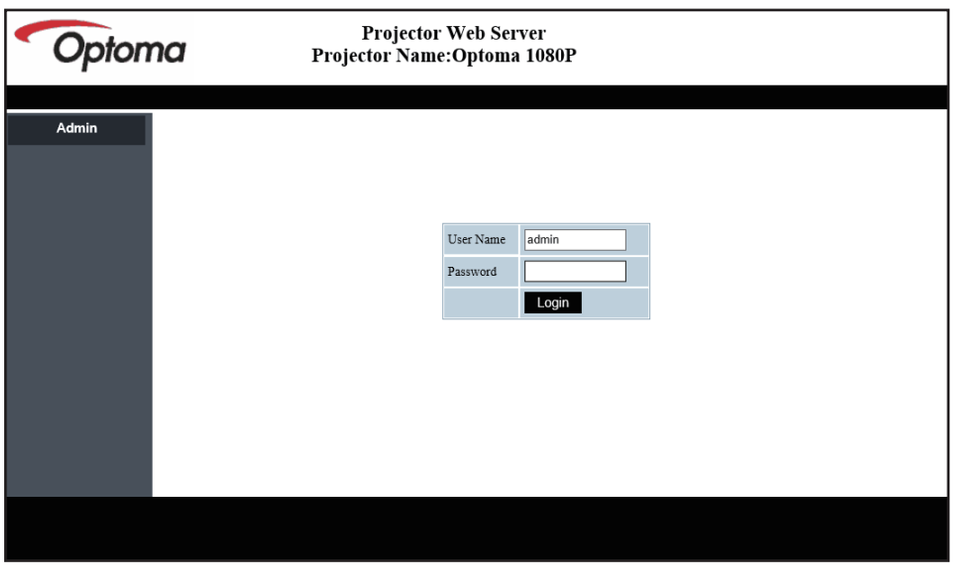
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
有効なユーザーパスワードを入力してください。



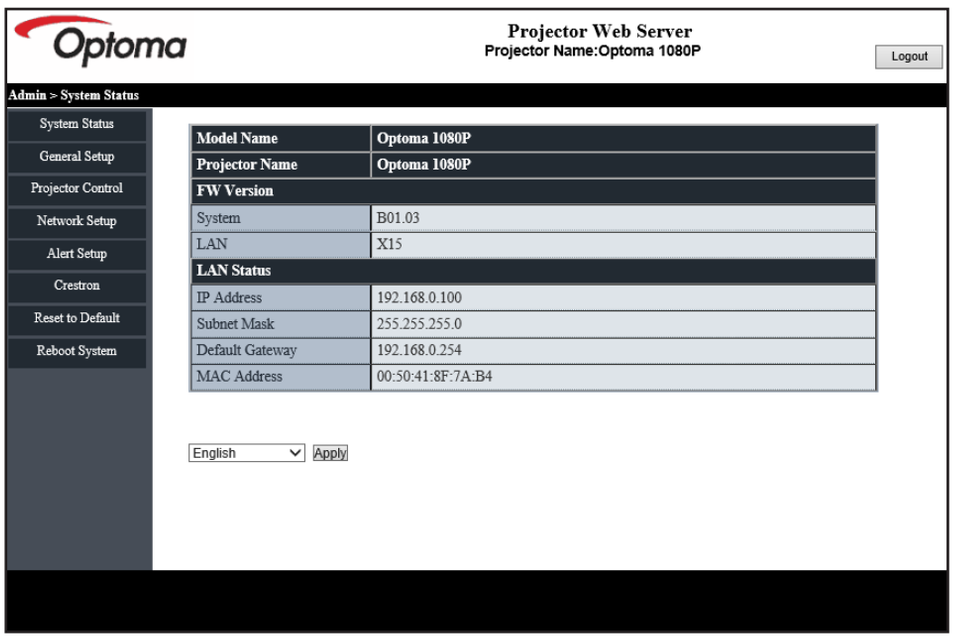
有効なパスワードを入力して Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。



プロジェクターを使用する

システムステータス

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアのバージョン、現在の LAN 構成を確認し、必要に応じてインターフェイス言語を変更できます。
図中の Web ページに表示されるバージョン名は、実際の表示と異なる場合があります。

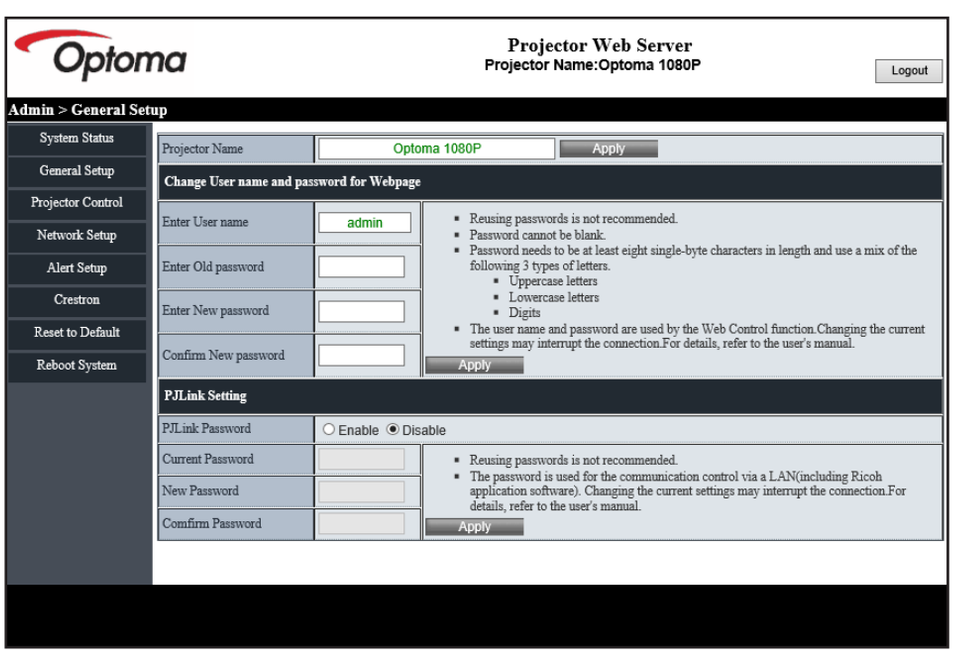


一般設定

ここで設定したプロジェクター名は PJリンク制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

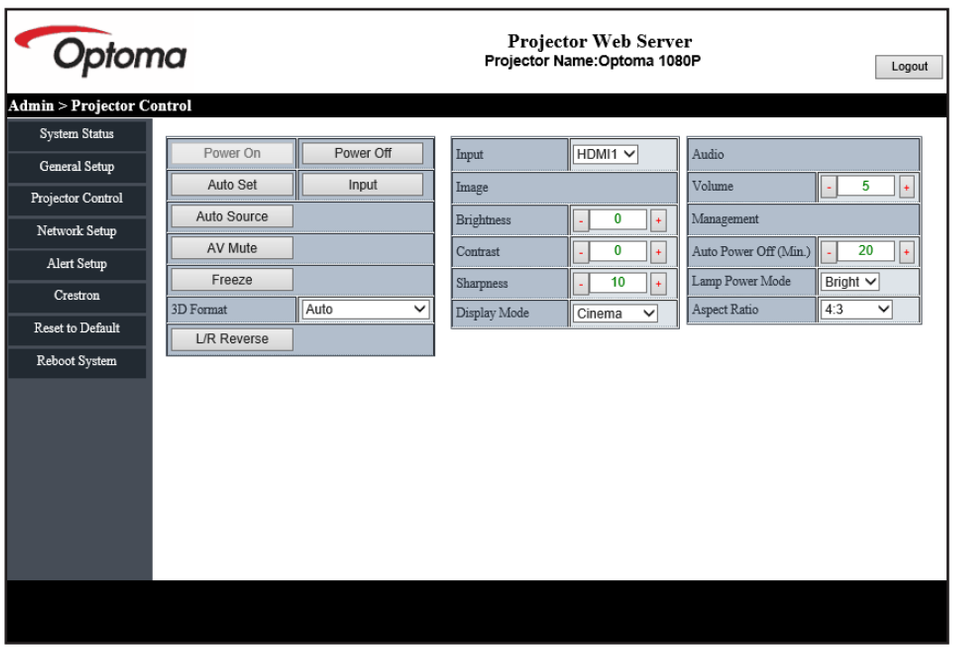


プロジェクターを使用する

プロジェクター制御

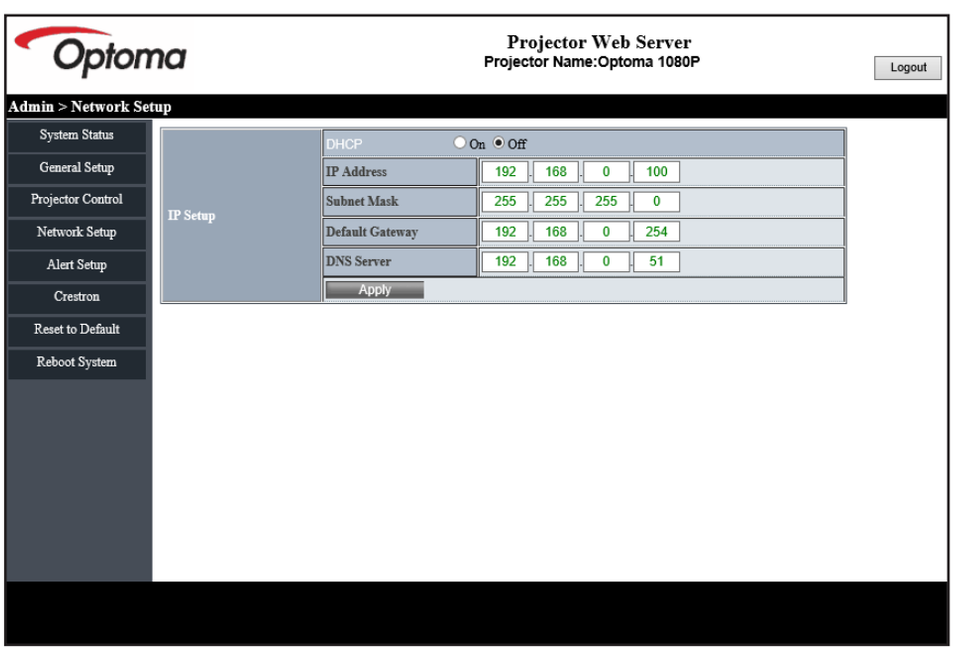
この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

コントロールボタン: ボタンをクリックすると、対応する機能が実行されます。



ネットワーク設定

プロジェクターのネットワークを設定します。



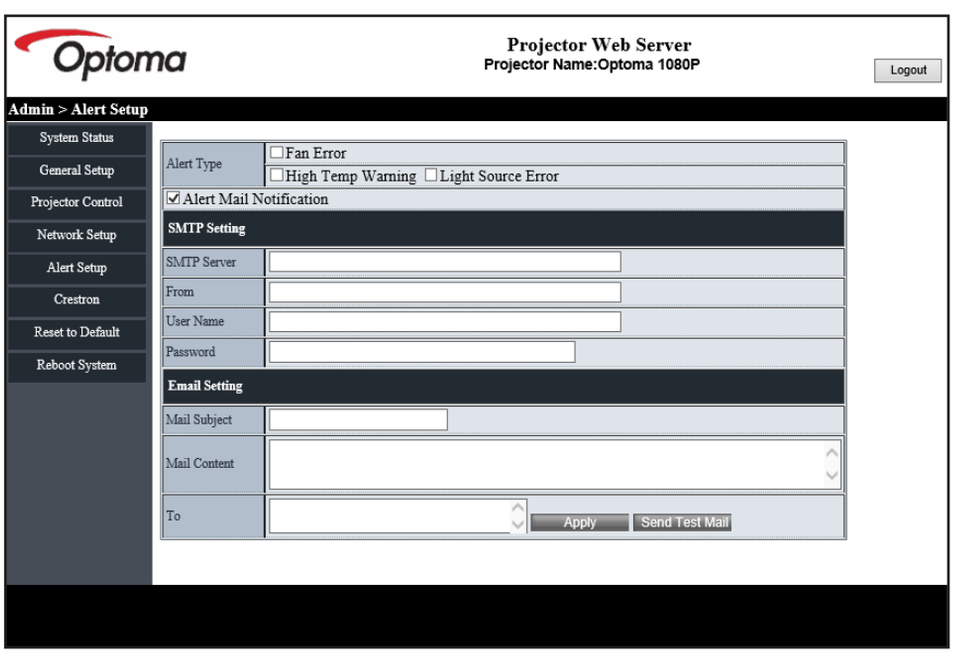
アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
   - SMTP 設定: 以下を設定します。
     a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
     b) From: 送信者のメールアドレス
     c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
     d) パスワード: メールサーバーのパスワード。
   - メール設定: 以下を設定します。
     a) メールの件名
     b) メールの内容
     c) 宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. [適用] をクリックして値を修正します。
4. *xxx.xxx.xxx.xxx にプロジェクターの IP アドレスを入力します。
5. テストメールを送信します。

   [テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。

   テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx *」になります。



プロジェクターを使用する

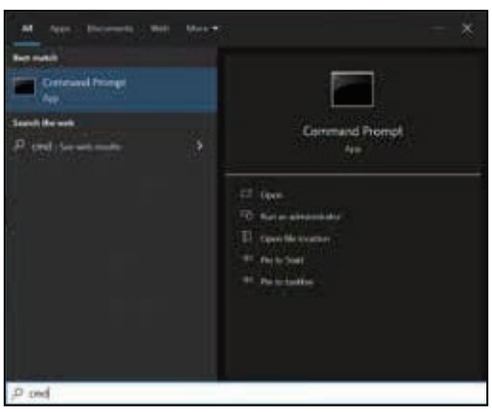
RS232 by Telnet機能 ※

LAN/RJ45インターフェイス対象には、RS232 コマンドによる制御方法の代用として、プロジェクターには「RS232 by TELNET」 機能が備わっています。

「RS232 by Telnet」のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD から、 IP アドレスを確認します。
- コンピューターがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- 「TELNET」機能がPC/ノートブックでファイリングされた場合は、「Windows ファイアウォール」設定が無効になっていることを確認します。

1. **[検索]** をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
   - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
   - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

「RS232 by TELNET」 の仕様：

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
   - Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。
   - Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
   - Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

リセットメニュー

コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

※ 株式会社オーエスエムではRS232 by Telnetについてのサポートは行っておりません。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

以下のリストにあるプロジェクター情報が表示されます。

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- カラー情報
- Light Source Hours
- ピクチャモード
- デバイス ID
- エアフィルタ使用時間
- 光源モード
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640 x 480	60/67/72/75	Mac 60/72
SVGA	800 x 600	56/60(*1)/72/75	Mac 60/72
XGA	1024 x 768	60(*1)/70/120(*1)	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	720 x 480	60	
SDTV(480P)	720 x 480	60	
SDTV(576I)	720 x 576	50	
SDTV(576P)	720 x 576	50	
HDTV(720p)	1280 x 720	50(*1)/60/120(*1)	Mac 60
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	
SXGA	1280 x 1024	60	Mac 60
	1440 x 900	60	
SXGA+	1400 x 1050	60	
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080I)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60	Mac 60
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/25/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 x 2160	24/25/30/50/60	Mac 24

注:

- *(*1) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミング。*
- *(*2) Windows 8 標準タイミング。*

追加情報

True 3D ビデオ互換性

<table>
<tr><td rowspan="19">入力解像度</td><td rowspan="9">HDMI 1.4a 3D 入力</td><td colspan="3">入力タイミング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">トップアンドボトム</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080P @ 24Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="10">HDMI 1.3</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="7">サイドバイサイド
(ハーフ)</td><td rowspan="7">サイドバイサイドモードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>800 x 600 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1024 x 768 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 800 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="7">トップアンドボトム</td><td rowspan="7">TAB モードがオン</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720P @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>800 x 600 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1024 x 768 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 800 @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1024 x 768 @ 120Hz</td><td rowspan="2">フレーム
シーケンシャル</td><td rowspan="2">3D映像フォーマットがフレーム
シーケンシャル</td></tr>
<tr><td>1280x 720 @ 120Hz</td></tr>
</table>

注:

- *3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります*
- *1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100 Hz で動作します。その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。*
- *1080p@24Hz は 144Hz で動作します。*

追加情報

EDID (Digital)

WXGA				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @70Hz	1024 x 768 @ 120Hz	ネーティブタイミング:	640 x 480p 4:3 @60Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	720(1440) x 576i 4:3 @50Hz	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @67Hz	1280 x 720 @ 120Hz		720(1440) x 576i 16:9 @50Hz	
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 120Hz		720(1440) x 480i 4:3 @60Hz	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720(1440) x 480i 16:9 @60Hz	
800 x 600 @ 56Hz	1440 x 900 @ 60Hz		720 x 576p 4:3 @50Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		720 x 576p 16:9 @50Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1680 x 1050 @ 60Hz		720 x 480p 4:3 @60Hz	
800 x 600 @ 75Hz			720 x 480p 16:9 @60Hz	
832 x 624 @ 75Hz			1280 x 720p 16:9 @50Hz	
1024 x 768 @ 60Hz			1280 x 720p 16:9 @60Hz	
1024 x 768 @70Hz			1920 x 1080i 16:9 @60Hz	
1024 x 768 @75Hz			1920 x 1080i 16:9 @50Hz	
1280 x 1024 @75Hz			1920 x 1080p 16:9 @24Hz	
1152 x 870 @75Hz			1920 x 1080p 16:9 @30Hz	
			1920 x 1080p 16:9 @50Hz	
			1920 x 1080p 16:9 @60Hz	

1080p				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @70Hz	1024 x 768 @ 120Hz	ネーティブタイミング:	640 x 480p 4:3 @ 60Hz	1366 x 768 @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	720(1440) x 576i 4:3 @50Hz	
640 x 480 @ 67Hz	128 x 720 @ 120Hz		720(1440) x 576i 16:9 @50Hz	
640 x 480 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720(1440) x 480i 4:3 @60Hz	
640 x 480 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720(1440) x 480i 16:9 @60Hz	
800 x 600 @ 56Hz	1440 x 900 @ 60Hz		720 x 576p 4:3 @ 50Hz	
800 x 600 @ 60Hz	1400 x 1050 @ 60Hz		720 x 576p 16:9 @ 50Hz	
800 x 600 @ 72Hz	1600 x 1200 @ 60Hz		720 x 480p 4:3 @ 60Hz	
800 x 600 @ 75Hz			720 x 480p 16:9 @ 60Hz	
832 x 624 @ 75Hz			1280 x 720p 16:9 @ 50Hz	
1024 x 768 @ 60Hz			1280 x 720p 16:9 @ 60Hz	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080i 16:9 @ 60Hz	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080i 16:9 @ 50Hz	
1280 x 1024 @ 75Hz			1920 x 1080p 16:9 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			1920 x 1080p 16:9 @ 30Hz	
			1920 x 1080p 16:9 @ 50Hz	
			1920 x 1080p 16:9 @ 60Hz	
			1920 x 1080p 16:9 @ 120Hz	
			3840 x 2160p 16:9 @ 24Hz	

追加情報

1080p				
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
			3840 x 2160p 16:9 @ 25Hz	
			3840 x 2160p 16:9 @ 30Hz	
			3840 x 2160p 16:9 @ 50Hz	
			3840 x 2160p 16:9 @ 60Hz	
			4096 x 2160p 256:135 @ 24Hz	
			4096 x 2160p 256:135 @ 25Hz	
			4096 x 2160p 256:135 @ 30Hz	
			4096 x 2160p 256:135 @ 50Hz	
			4096 x 2160p 256:135 @ 60Hz	

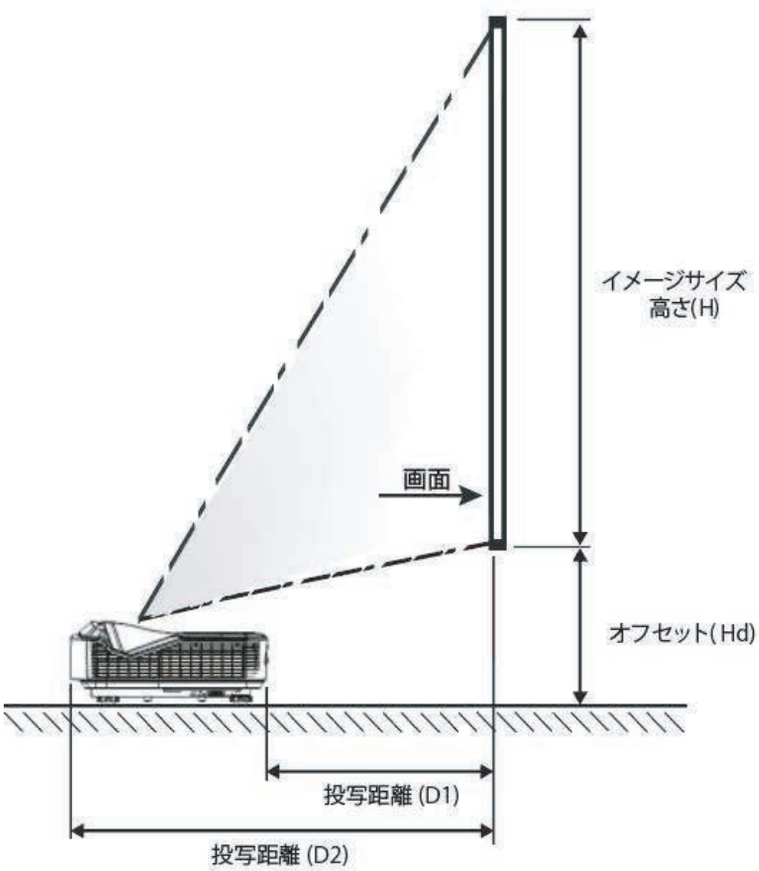
追加情報

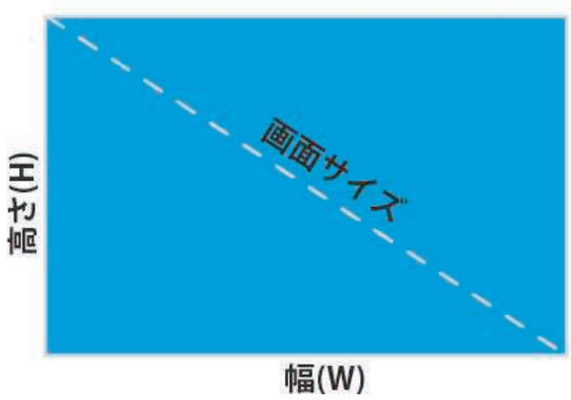
イメージサイズと投写距離 ※1

イメージサイズは0.184m(80インチ)~ 0.471m(130インチ)の範囲で調整可能です。

画面サイズ WXGA(16:10)	イメージサイズ(m)		投写距離(m)※1		オフセット(m)※3
	幅(W)	高さ(H)	D1 ※2	D2	Hd
80	1.723	1.077	0.184	0.512	0.243
85	1.831	1.144	0.213	0.541	0.254
90	1.939	1.212	0.242	0.570	0.265
95	2.046	1.279	0.270	0.598	0.276
100	2.154	1.346	0.299	0.627	0.286
105	2.262	1.414	0.328	0.656	0.297
110	2.369	1.481	0.356	0.684	0.308
115	2.477	1.548	0.385	0.713	0.319
120	2.585	1.615	0.414	0.742	0.329
125	2.692	1.683	0.442	0.770	0.340
130	2.800	1.750	0.471	0.799	0.351

※1　アスペクト比 WXGA（16：10）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。
（許容誤差±5%）
※2　このプロジェクターは0.184m～0.471mの距離でピントを合わせることができます。
※3　オフセットHdは、設置面の水平度に影響を受けるため、およその値として下さい。



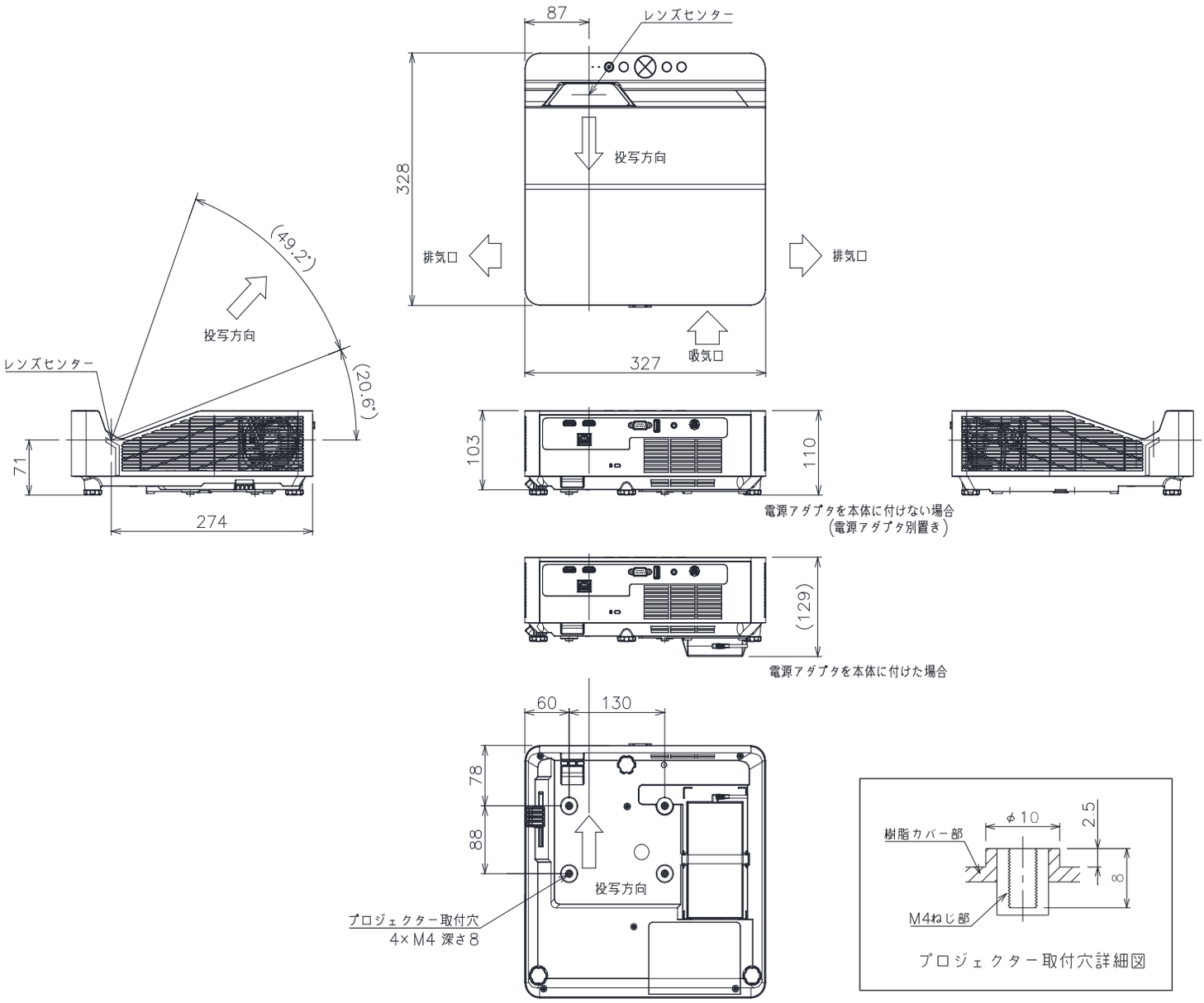


追加情報

プロジェクターの寸法および天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるねじが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ねじの種類：M4
- ねじ深さ： 8 mm



単位: mm

注: *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

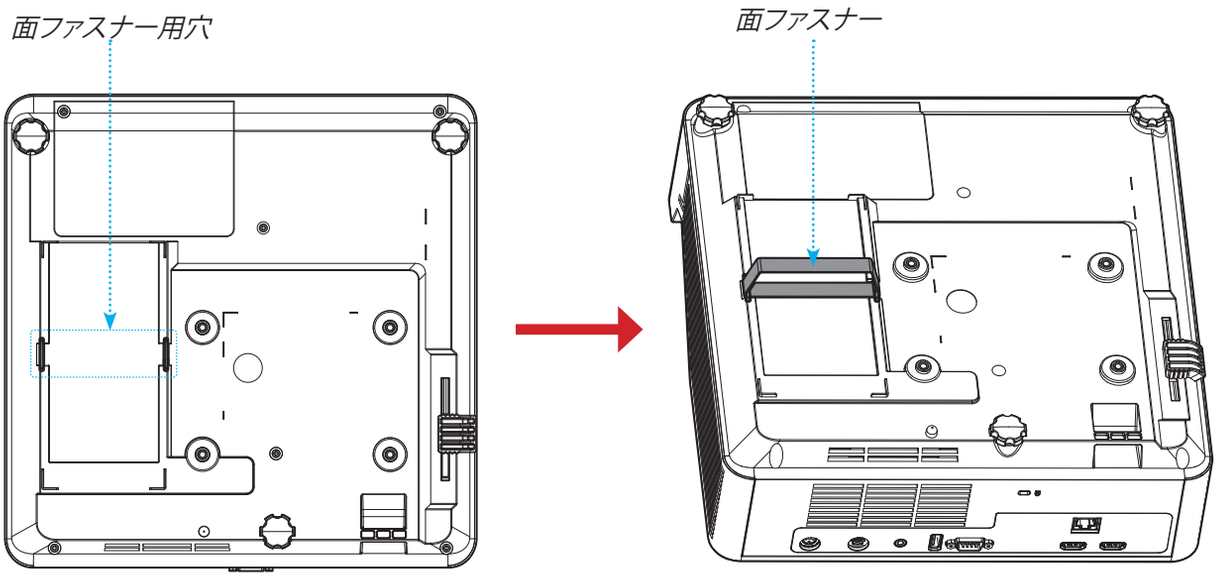
警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずねじのサイズが正しいことをご確認ください。ねじのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

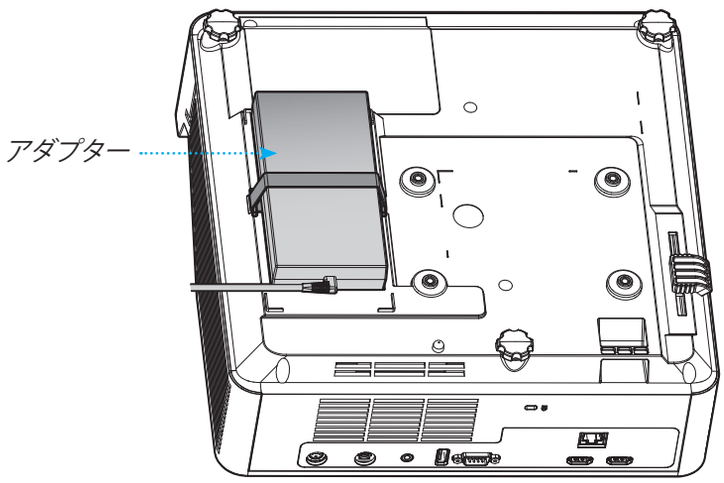
追加情報

天井取り付けの場合、必要に応じて、長さが 250 mm を超える面ファスナーを購入して AC アダプターを固定できます。

1. プロジェクターの下部にある指定の穴に面ファスナーを取り付けます。



2. AC アダプターをスロットに配置します。



追加情報

IR リモコンのコード

キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
電源	⏻	フォーマット1	32	CD	02	FD	押すとプロジェクターの電源がオン/オフになります。
アスペクト比		フォーマット1	32	CD	64	9B	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
ソース		フォーマット1	32	CD	C3	3C	押して入力信号を選択します。
モード		フォーマット1	32	CD	5	FA	これを押すと、表示画像のピクチャモードを変更できます。
4方向選択キー（上）	^	フォーマット2	32	CD	11	EE	これを押して、項目を選択するか、選択を合わせて調整を行います。
4方向選択キー（左）	<	フォーマット2	32	CD	10	EF	
4方向選択キー（右）	>	フォーマット2	32	CD	12	ED	
4方向選択キー（下）	v	フォーマット2	32	CD	14	EB	
入力	o	フォーマット1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
設定/設定メニュー		フォーマット1	32	CD	A8	57	これを押して、設定メニューに入ります。
戻る		フォーマット1	32	CD	0D	F2	これを押して、前メニューに戻ります。
メニュー	≡	フォーマット1	32	CD	0E	F1	これを押して、On Screen Display メニューを表示または終了します。
音量-		フォーマット2	32	CD	8F	70	これを押して、音量を小さくします。
ミュート		フォーマット1	32	CD	52	AD	押すと一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。

追加情報

キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
音量 +		フォーマット2	32	CD	8C	73	押すと音量が大きくなります。
フリーズ		フォーマット1	32	CD	06	F9	押すとプロジェクタの画像が一時停止します。
キーストン		フォーマット1	32	CD	7	F8	押すと、プロジェクタを斜め方向から投写することで生じる画像のゆがみを調整します。
AV 消音		フォーマット1	32	CD	03	FC	押すとスクリーンの画像が表示/非表示になり、オーディオのオフ/オンが切り替わります。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「投射位置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうかを確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターのフォーカス レバーで調整してください。(*17* ページ参照)
- 投写画面が必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*58* ページ参照)。

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生するとき、プロジェクター側で 16: 9 フォーマットで最適な画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3にフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットを設定してください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる

- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレー → アスペクト比] に進みます。別の設定をお試しください。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターが画面の中央下端になるように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから [ディスプレー → 投射位置] を選択し、投写方向を調整してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの動作範囲が、プロジェクターの IR レシーバー直角方向から ±15° 以内にあるか確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 古くなった電池は、新しいものと交換してください。

追加情報

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。

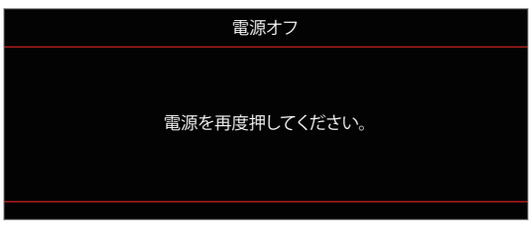
- [ランプ] LED インジケーターが赤く点灯し、[電源]インジケーターが赤色に点滅している場合。
- [温度]LEDインジケーターが赤く点灯し、[電源]インジケーターが赤色に点滅している場合。
  これは、プロジェクターが過熱状態になっていることを表します。標準の条件になると、プロジェクターのスイッチを再度オンにすることができます。
- [温度]LEDインジケーターが赤く点滅し、[電源]インジケーターが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケーターが再度、 点灯または点滅した場合はテクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

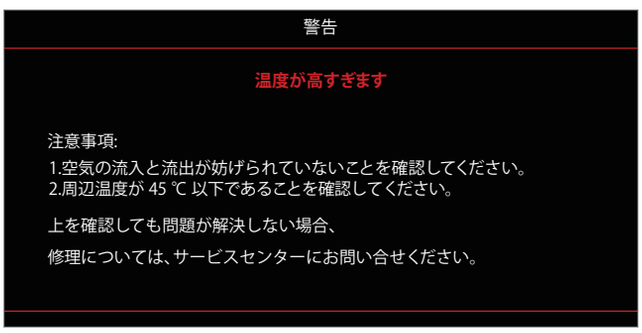
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤色)	(青)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	点灯			
電源オン (警告)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります。		
エラー (ランプ障害)	点滅			点灯
エラー (ファン障害)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ：



- 温度警告：



追加情報

仕 様

本体カラー	ホワイト
投写方式	DLP®Technology
表示素子	WXGA（1280×800）　DMDチップ　※1
HDR信号	非対応
入力解像度	取扱説明書 参照
アスペクト比	16：10 ※2
明るさ	3,200　ルーメン（ANSI）
コントラスト比	300,000：1
投写レンズ	F=2.44、f=-3.70mm、ズーム無し
防塵性能	IP6X
光源	レーザー
光源寿命	30,000時間(エコモード)
投写距離	0.184m（80型）～0.471m（130型）　※3
キーストン補正	水平±5°　・　垂直±5°
コンピューター信号	UHD、FHD、HD、UXGA、SXGA、WXGA、XGA、SVGA、VGA、Mac
入力端子	HDMI（V1.4b）×2
出力端子	オーディオ（3.5mmジャック）×1、USB-A（5V　1.5A）×1
コントロール端子	RS-232C ×1、RJ45 ×1
3D対応	DLP 3D、Blu-ray 3D、PC frame sequential 120Hz 3D
スピーカー	15W（モノラル）
騒音値	27dB（エコモード）
電源	本体：DC 19.5V　9.23A　、　付属ACアダプター AC 100V～240V（50/60Hz）
消費電力	176W±15%（ブライトモード）
待機電力	0.5W以下（エコモード）
RoHS指令	適合
VCCI	適合
外形寸法	327（W）mm×328（D）mm×110（H）mm （突起部を含まない）
製品質量	本体：4.0kg　、　ACアダプター：0.5kg
付属品	電源コード、ACアダプター、リモコン（CR2025）、取扱注意書（QRコード）
梱包寸法	（W）485mmx（D）435mmx（H）200mm
梱包質量	約6.3kg
推奨動作環境	気温 5～40℃、湿度 10～85%(結露無きこと)、標高3000m以下

※ 仕様は予告なしで変更されることがあります。

※ 1 DMD™/DLP®テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが、AZW430UST（1280x800）の場合、102万個以上敷き詰められ、1秒間に9000回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現します。

※ 2 画面の横と縦の比率です。

※ 3 アスペクトWXGA（16：10）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）

memo

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター

〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496

（受付時間：平日 9：00 ～ 17：50　土日祝日を除く）

E-mail：info@os-worldwide.com

WEB：https://www.optoma.jp